

城端線・氷見線LRT化需要予測調査業務

報 告 書

令和3年3月

**城端線・氷見線LRT化検討会
パシフィックコンサルタンツ株式会社**

目 次

1. 業務概要	1
1.1 業務の目的	1-1
1.2 業務概要	1-1
1.3 業務の実施フロー	1-2
1.4 業務内容	1-3
2 沿線地域の現況調査	2-1
2.1 人口・施設	2-1
2.2 移動状況	2-17
2.3 公共交通	2-20
2.4 道路交通	2-35
2.5 主要拠点間の交通サービス比較	2-38
3. 移動実態・利用意向調査	3-1
3.1 調査企画・準備	3-1
3.2 データの処理	3-24
3.3 調査結果の基礎集計	3-29
利用意向調査自由意見【氷見市、高岡市、砺波市、南砺市】	
4. LRT導入を踏まえた需要予測調査	4-1
4.1 需要予測の概要	4-1
4.2 将来人口フレームの設定	4-3
4.3 将来発生交通量の推計	4-5
4.4 分布交通量(OD交通量)の推計	4-8
4.5 交通手段別交通量の推計	4-11
5. 私用目的の外出頻度増加に伴う需要予測調査及び 新型コロナウイルスの影響による外出行動への影響調査	5-1
5.1 私用目的の外出頻度増加に伴う需要予測調査	5-1
5.2 新型コロナウイルスの影響による外出行動への影響調査	5-7
6. 会議資料作成	6-1

今後の検討課題について

1. 業務概要

1.1 業務の目的

城端・氷見線については令和 2 年 1 月 JR 西日本から、富山県及び沿線 4 市に対し LRT 化など新しい交通体系の提案がなされている。

令和 2 年 6 月には、JR 西日本から提案のあった LRT 化などの城端・氷見線の活性化に向けた検討会を設置し、検討を進めている。

本業務は、城端・氷見線に LRT を導入した場合の需要を調査するものである。

1.2 業務概要

業務概要は以下のとおりである。

- | | |
|----------|---|
| 1) 業務名 | 城端・氷見線 LRT 化需要予測調査業務委託 |
| 2) 業務場所 | 富山県高岡市・氷見市・砺波市・南砺市 |
| 3) 業務発注者 | 城端線・氷見線 LRT 化検討会 |
| 4) 業務履行者 | パシフィックコンサルタンツ株式会社 富山事務所
富山県富山市丸の内一丁目 8 番 10 号 |
| 5) 履行期間 | 自) 令和 2 年 9 月 30 日 至) 令和 3 年 3 月 31 日 |
| 6) 業務構成 | 以下の通り
① 沿線地域の現況調査業務
② 移動実態・利用意向調査業務
③ LRT 導入を踏まえた需要予測調査業務
(四段階推計法による需要予測)
④ 外出頻度の増加による需要予測及び
新型コロナウイルスによる外出行動への影響調査業務
⑤ 会議資料作成業務 |

1.3 業務の実施フロー

本業務における実施フローを下図に示す。

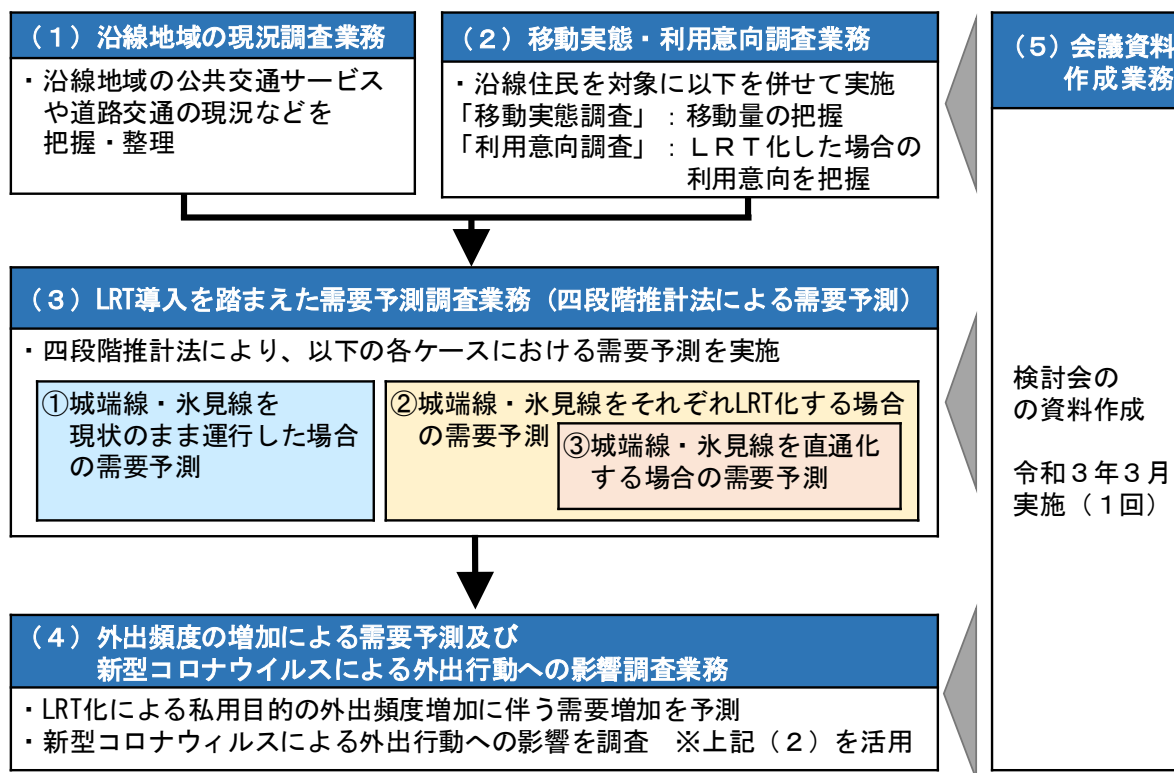


図 1.1 業務の実施フロー

1.4 業務内容

(1) 沿線地域の現況調査業務

沿線地域の公共交通サービスや道路交通の現況などについて把握・整理を行った。

(2) 移動実態・利用意向調査業務

住民の移動実態や、LRT化した場合の利用意向をアンケート調査などにより把握・分析を行った。

(3) LRT導入を踏まえた需要予測調査業務(四段階推計法による需要予測)

四段階推計法により、以下の各ケースの需要予測を行った。

- ① 城端線、氷見線を現状のまま運行した場合の需要予測
- ② 城端線、氷見線をそれぞれ LRT 化する場合の需要予測
- ③ 城端線、氷見線を直通化する場合の需要予測

(4) 外出頻度の増加による需要予測及び新型コロナウイルスによる外出行動への影響調査業務

LRT化により沿線住民の私用目的の外出頻度が増加することに伴う需要増加について、利用意向調査結果や既存事例等を踏まえて需要予測を行った。

また、「(2) 移動実態・利用意向調査」を活用し、新型コロナウイルスによる外出行動への影響を調査した。

(5) 会議資料作成業務

城端線・氷見線の LRT 化等の検討を行う会議等に必要な資料作成を行った。

2 沿線地域の現況調査

沿線地域の公共交通サービスや道路交通の現況などについて把握・整理する。

2.1 人口・施設

2.1.1 沿線4市の人口・人口密度

国勢調査（平成27年値）に基づく4市の人口や世帯数を見る。

○ 高岡市の人口が約17万人と突出しており、その他3市の人口は約5万人。

- ・ 人口は高岡市172,125人、氷見市47,992人、砺波市49,000人、南砺市51,327人であり、4市合計で320,444人。富山県全体人口1,066,328人に占める4市合計人口の割合は約30.1%となっている。
- ・ 人口密度は、高岡市821.2人/km²、氷見市208.1人/km²、砺波市385.8人/km²、南砺市76.8人/km²であり、4市合計で259.5人/km²。富山県全体251.2人/km²をやや上回っている。
- ・ 5年間（平成22年－平成27年国勢調査）の増減を見ると、各市ともに人口が減少している。世帯数では、富山県全体や4市合計では増加傾向にあるものの、氷見市、南砺市では減少している。

市町村名	総数	男	女	世帯数	1世帯 当たり 人員	面積	人口 密度	H22～H27の人口増減		人口 構成比（県）
								人口	世帯	
	人	人	人	世帯	人/世帯	km ²	人/km ²	上段：人 下段：%	上段：世帯 下段：%	%
県合計	1,066,328	515,147	551,181	391,171	2.73	4247.6	251.0	△26,919 △2.46	7,732 2.02	100.0
4市合計	320,444	153,775	166,669	112,724	2.84	1235.8	259.3	△11,477 △3.46	1,785 1.58	30.1
高岡市	172,125	82,802	89,323	63,814	2.70	209.6	821.2	△3,936 △2.23	1,822 2.94	16.1
氷見市	47,992	22,769	25,223	16,096	2.98	230.6	208.1	△3,734 △7.22	△362 △2.20	4.5
砺波市	49,000	23,781	25,219	16,220	3.02	127.0	385.	△410 △0.83	661 4.25	4.6
南砺市	51,327	24,423	26,904	16,594	3.09	668.6	76.8	△3,397 △6.21	△336 △1.98	4.8

図 2.1 市町別人口と世帯数

出典 平成22年国勢調査、平成27年国勢調査

2.1.2 人口推移

(1) 沿線4市の総人口推移

○ 4市の合計人口は、今後20年間で約2割減少する見込み。

- ・ 国立社会保障・人口問題研究所による各市の将来人口では、令和22年の4市合計人口は246,258人となり、令和2年からの20年間で、約20%の減少が見込まれる。

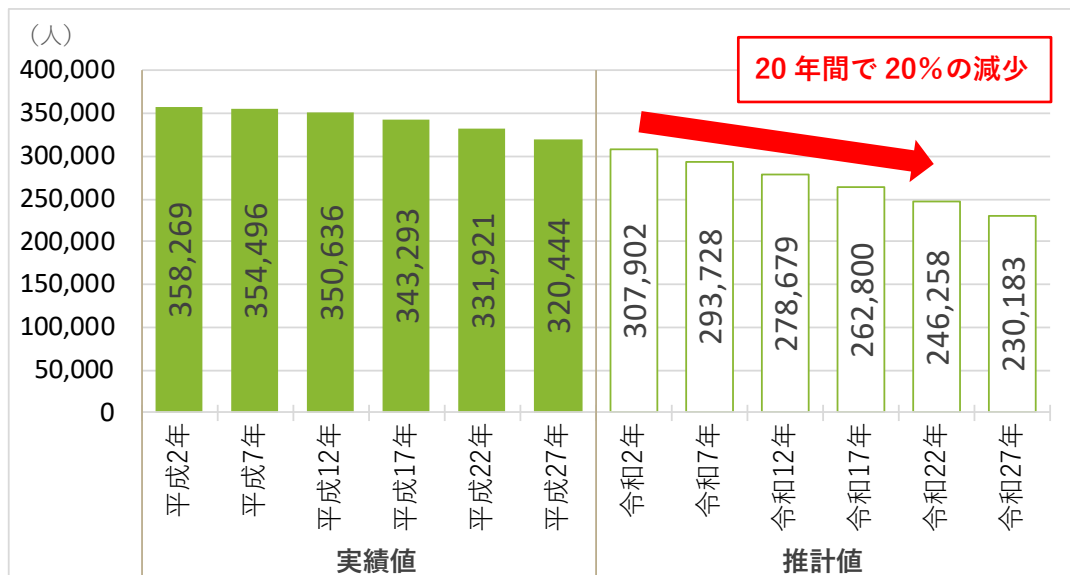


図 2.2 4市の合計人口推移

出典 (出典 実績値：国勢調査 推計値：国立社会保障・人口問題研究所)

○ 4 市すべての人口が、既に減少傾向にある。

- ・ 砺波市は平成 17 年から平成 22 年にかけてピークを迎え、平成 27 年は減少している。今後、さらなる人口減少が予想されている。



図 2.3 各市の総人口推移

出典 (出典 実績値：国勢調査 推計値：国立社会保障・人口問題研究所)

(2) 年齢3区分別の人口推移と人口構成

年齢3区分別の人口推移及び人口構成比について、4市の合計をみる。

- すべての年齢階層が今後は減少する見込みで、特に生産年齢は大幅に減少。
- 高齢化率は、20年後（令和22年）には4割を超える見込み

- ・ 4市の合計では、0～14歳の年少人口及び15～64歳の生産年齢人口が継続して減少傾向にある一方、65歳以上の老年人口は平成27年度以降10万人前後で推移すると推計されている。
- ・ 年少人口と老年人口それぞれの合計は平成2年以降に逆転し、令和27年の時点では老年人口が年少人口の約4.8倍になると推計されている。
- ・ 構成比をみると、65歳以上の高齢化率が一貫して上昇する見込みとなっており、平成27年に30%を超え、令和27年には約43%になると推計されている。一方で0～14歳の年少人口は、今後も10%以下で推移すると推計されている。

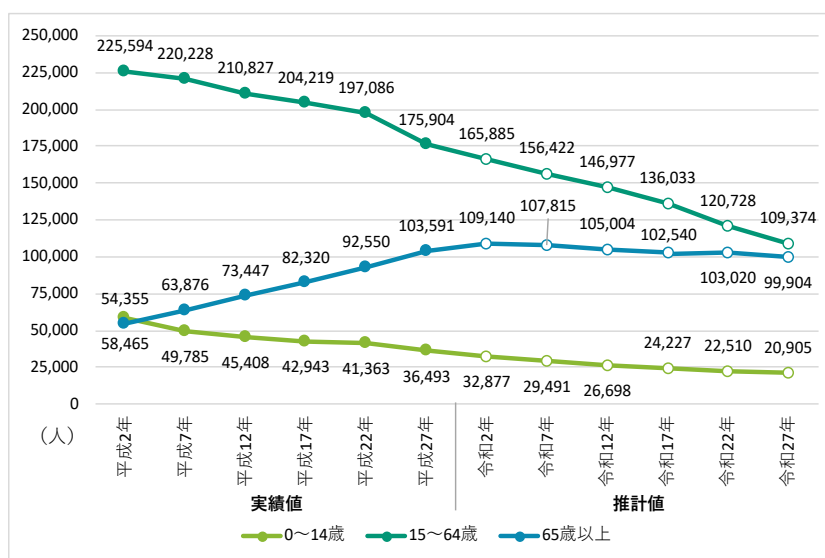


図 2.4 4市の合計 年齢3区分別人口推移

(出典 実績値：国勢調査 推計値：国立社会保障・人口問題研究所)

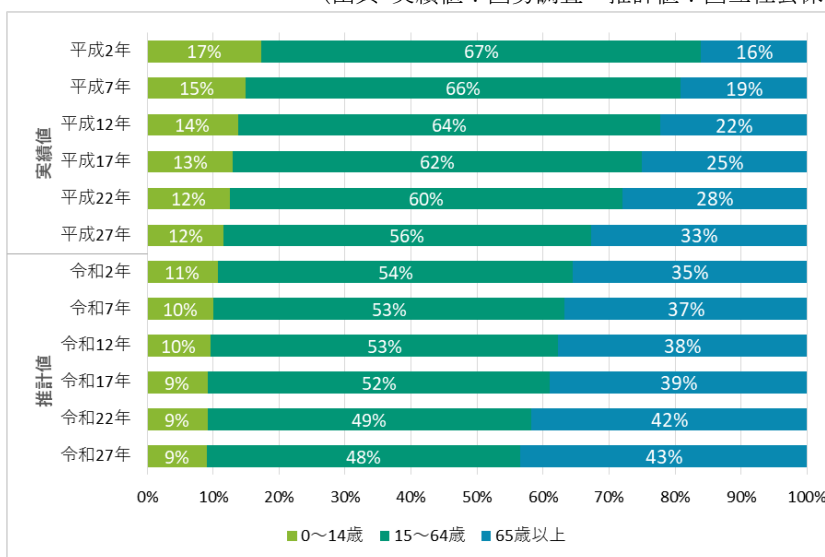


図 2.5 4市の合計 年齢3区分別人口構成比推移

(出典 実績値：国勢調査 推計値：国立社会保障・人口問題研究所)

年齢3区分別の人口推移及び人口構成比について、各市の状況をみる。

○ 高齢化率が高いのは、氷見市、南砺市、高岡市、砺波市の順。

- ・ 各市とも増減の比率に差はあるものの、0～14歳の年少人口及び15～64歳の生産年齢人口が減少傾向、65歳以上の老年人口が増加あるいは一定水準を保つ傾向となっている。
- ・ 65歳以上の老年人口の将来推計値は、令和27年では、高岡市42%、氷見市50%、砺波市40%、南砺市47%となっている。

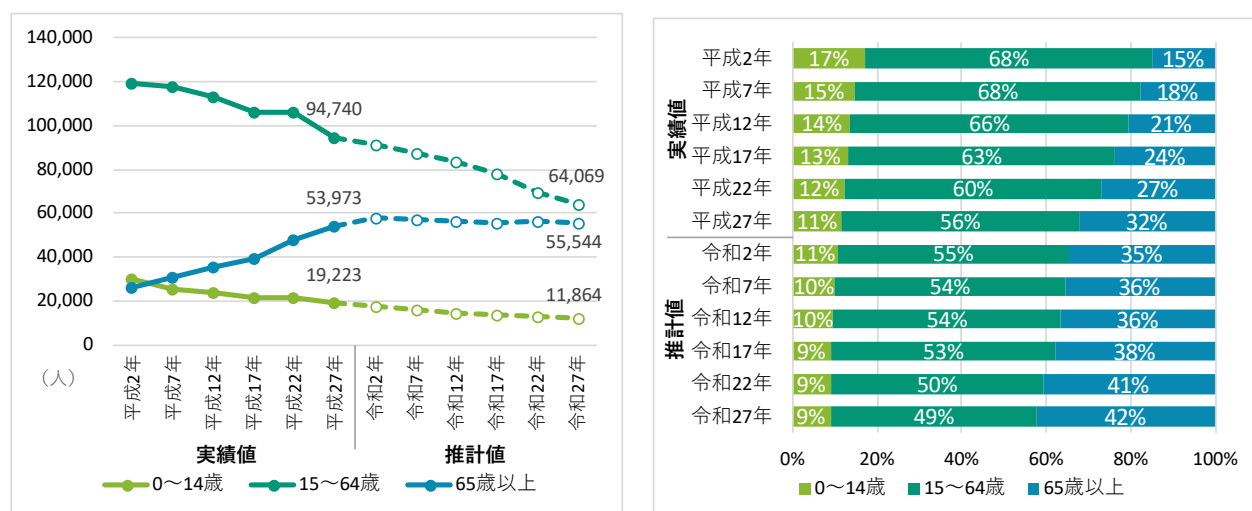


図 2.6 高岡市の年齢3区分別人口推移及び構成比推移

(出典 実績値：国勢調査 推計値：国立社会保障・人口問題研究所)

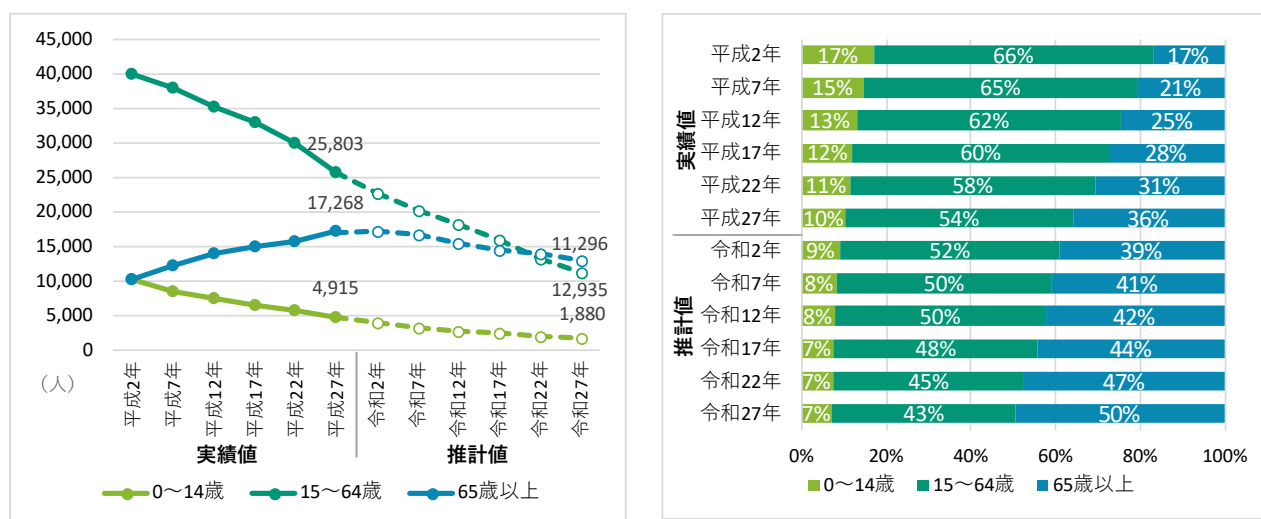


図 2.7 氷見市の年齢3区分別人口推移及び構成比推移

(出典 実績値：国勢調査 推計値：国立社会保障・人口問題研究所)

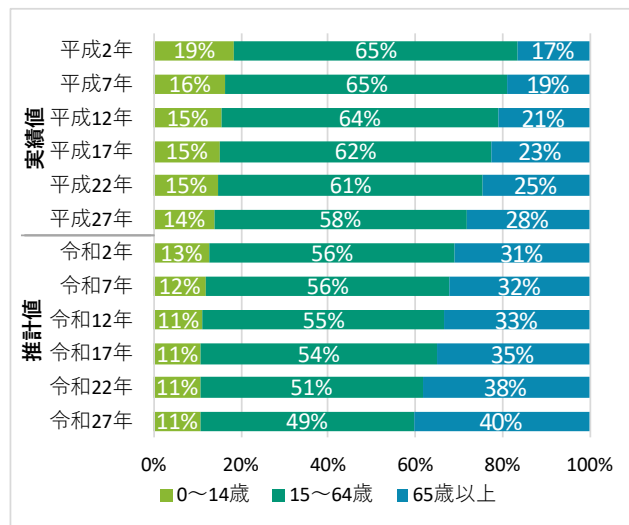
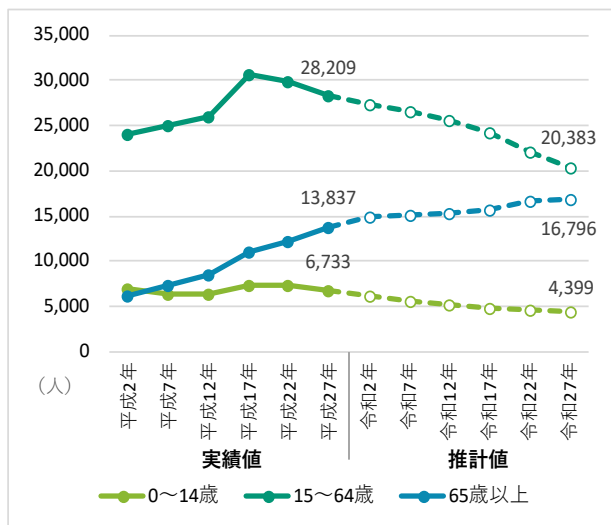


図 2.8 砺波市の年齢3区分別人口推移及び構成比推移

(出典 実績値：国勢調査 推計値：国立社会保障・人口問題研究所)

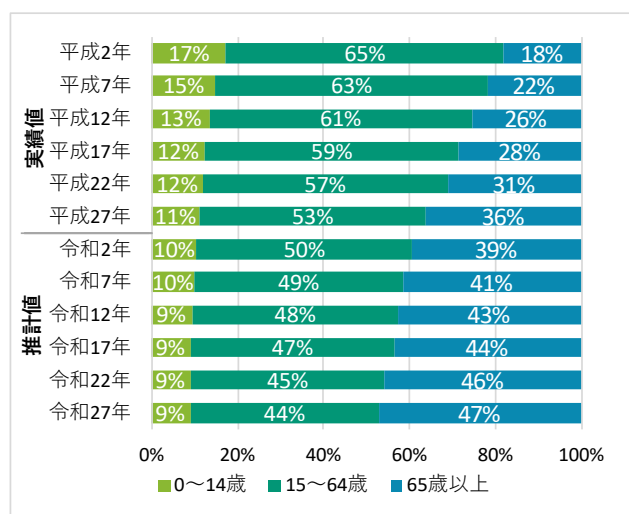
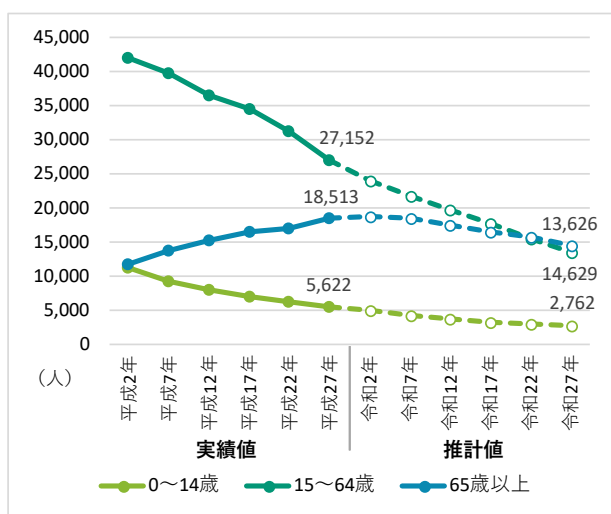


図 2.9 南砺市の年齢3区分別人口推移及び構成比推移

(出典 実績値：国勢調査 推計値：国立社会保障・人口問題研究所)

2.1.3 人口分布

(1) 人口分布

○ 城端線・氷見線の沿線に、比較的人口が集積している。

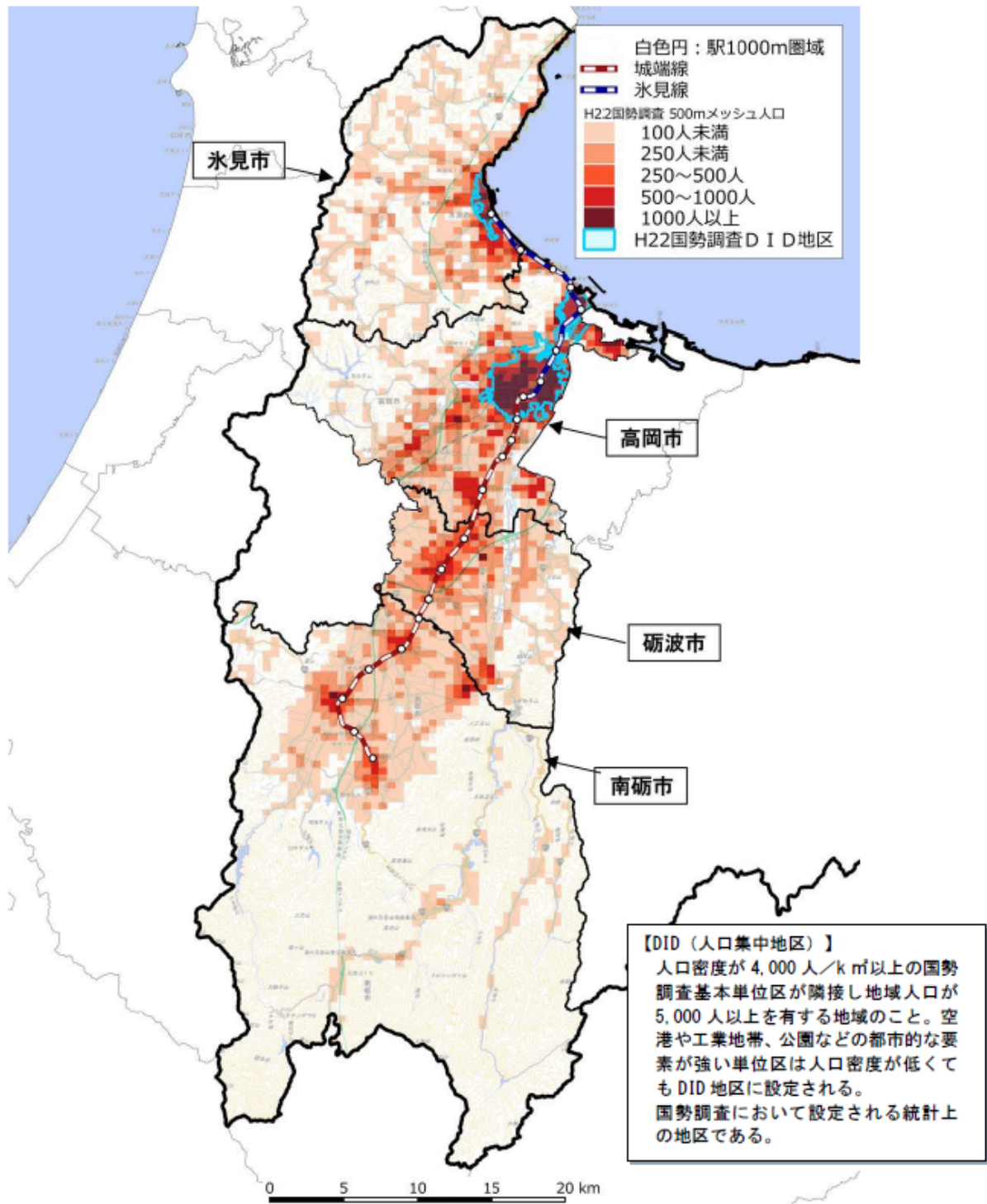


図 2.10 平成 22 年国勢調査 500m メッシュ人口分布状況

(出典 平成 22 年国勢調査 メッシュ統計情報)

(2) 高齢化率

○ 高齢化率は、各市拠点駅の周辺市街地や、外縁部・山間部で高い傾向にある。

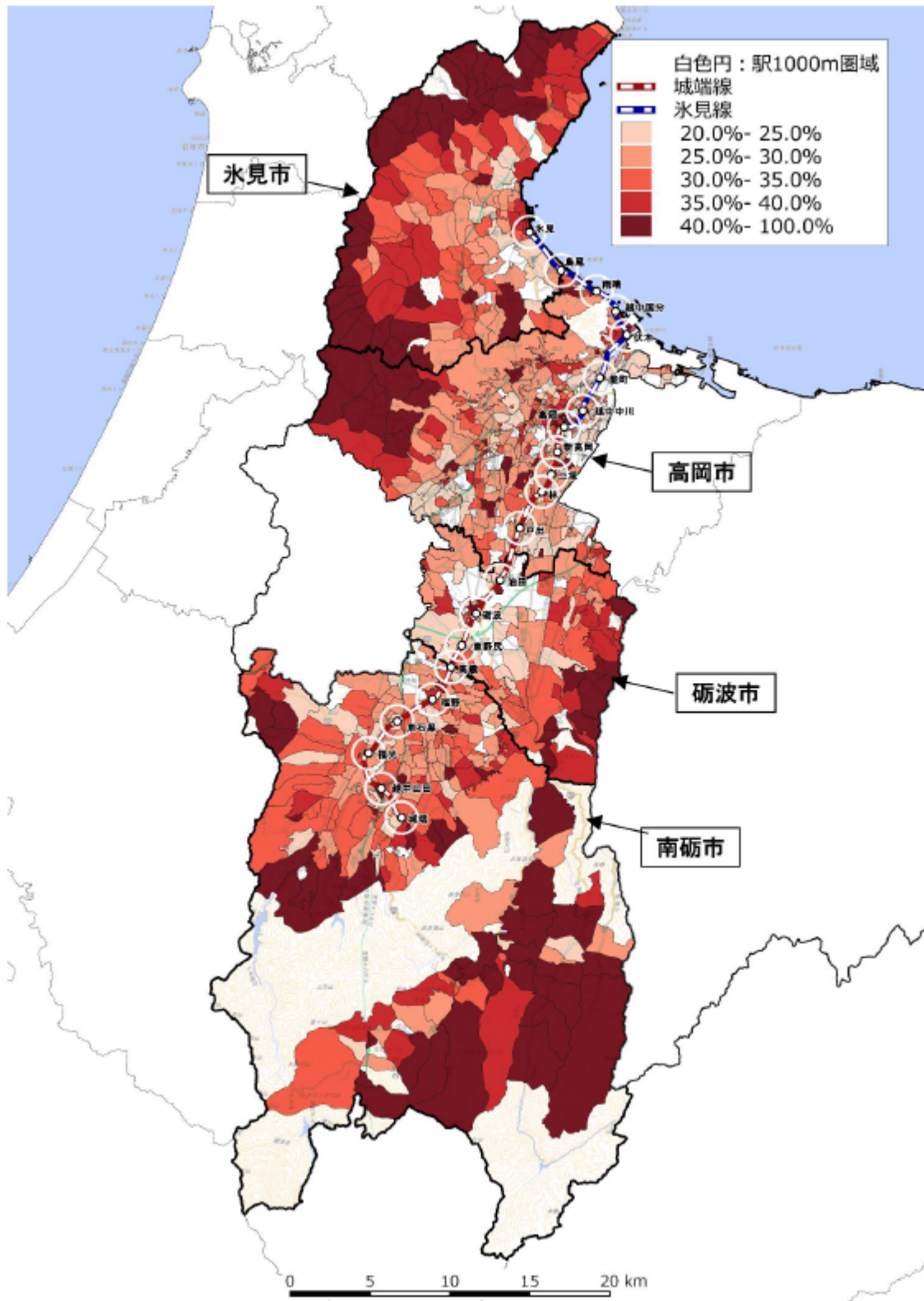


図 2.11 平成 22 年国勢調査 小地域別高齢化率

(出典 平成 22 年国勢調査)

2.1.4 日常施設分布

(1) 医療施設

- 4市に整備されている病院 30 施設の内、城端線・氷見線沿線各駅から半径2 km以内に立地するのは13施設である。他17施設は鉄道駅から離れたところに立地する。

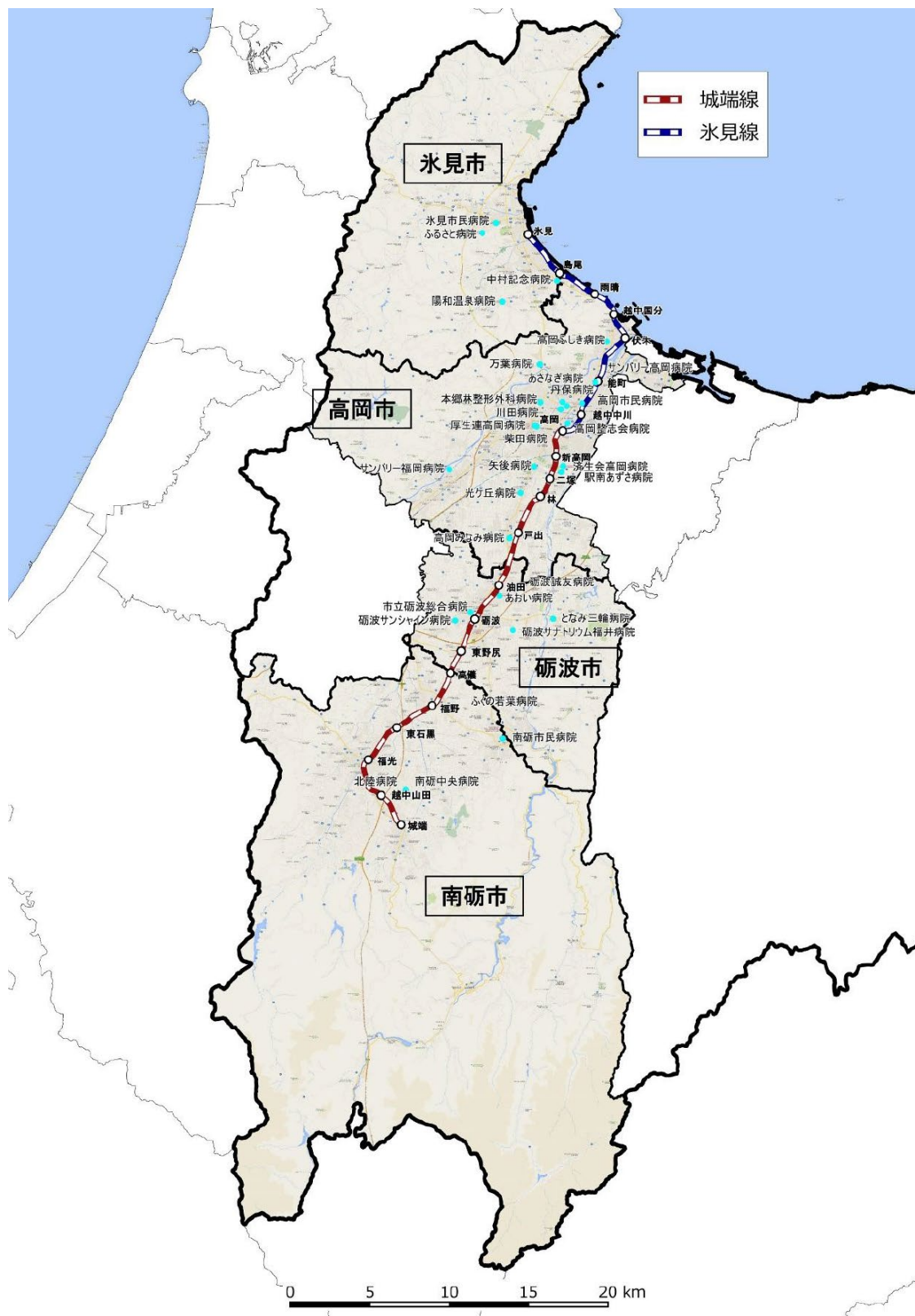


図 2.12 医療施設（病院）の分布

出典：城端線・氷見線沿線地域公共交通網形成計画（H29）

(2) 大規模小売施設

- 沿線4市の大規模小売施設 33 施設のうち、城端線・氷見線沿線各駅から半径2 km以内に立地するのは11 施設である。他は自動車での利便性が高い幹線道路沿い等に立地。

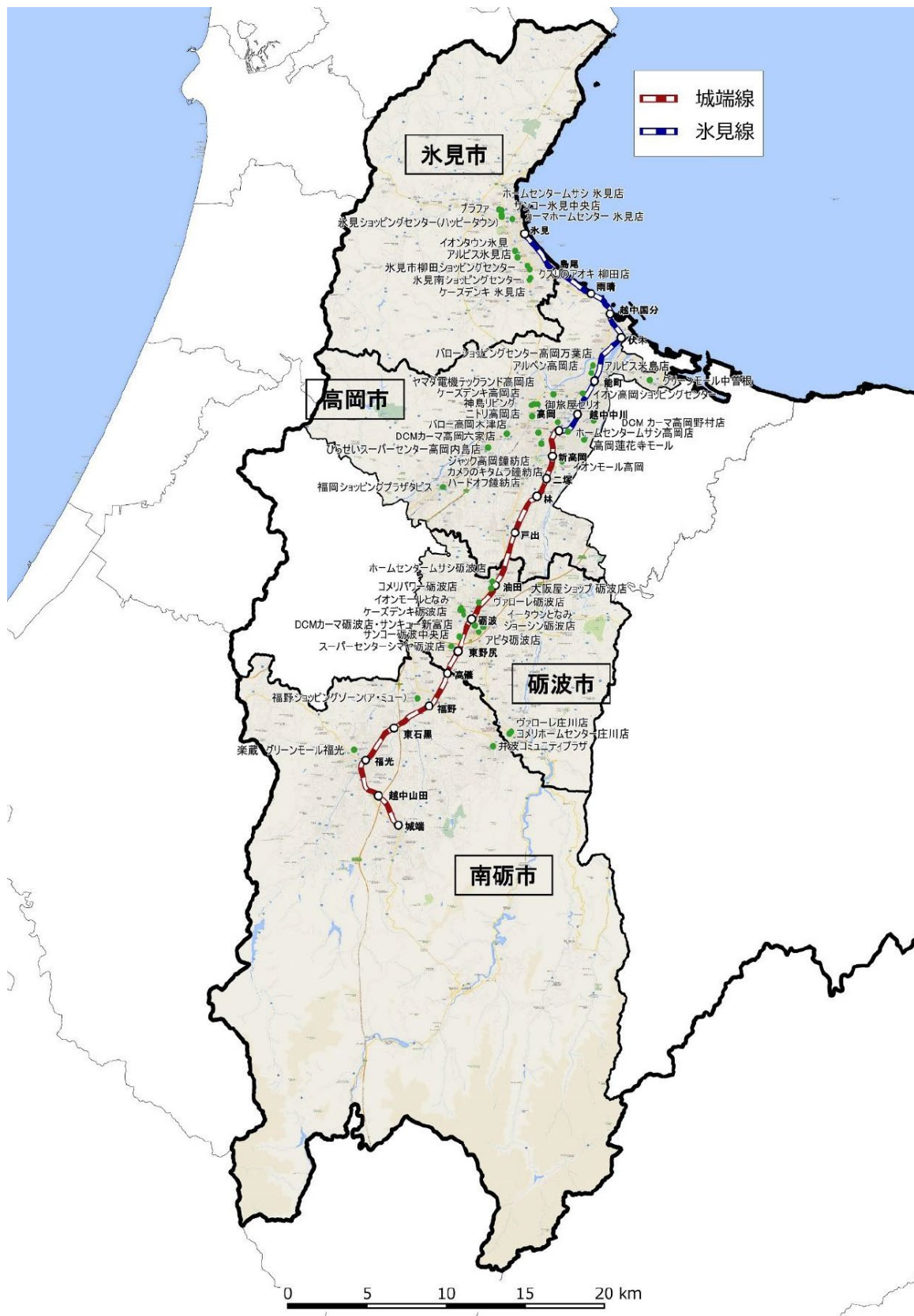


図 2.13 大規模小売施設の分布

出典：城端線・氷見線沿線地域公共交通網形成計画（H29）

(3) 高等学校

- 沿線4市に立地する高等学校17校の内、11校が城端線・氷見線各駅から半径2km以内に立地する。

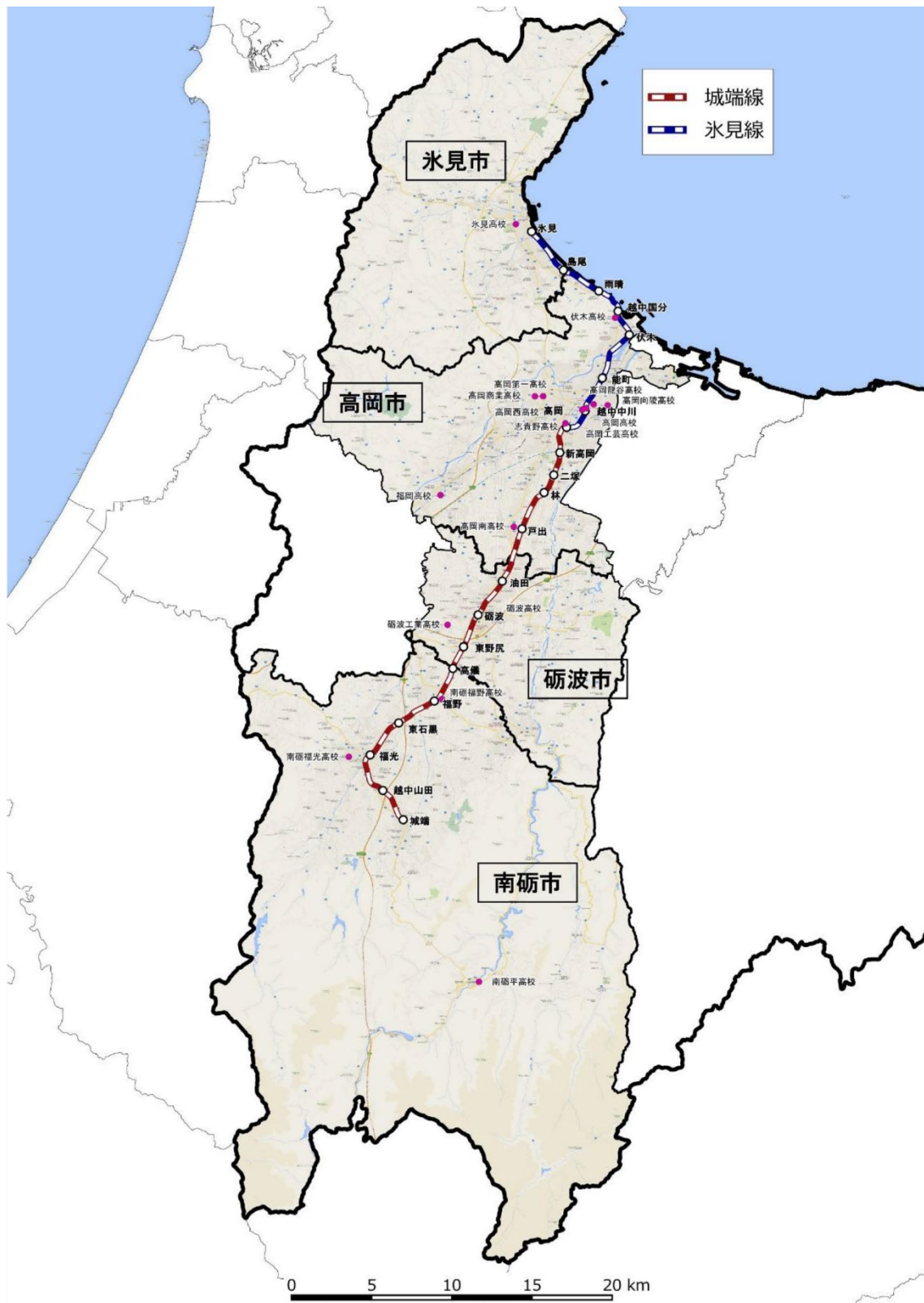


図 2.14 高等学校の分布

出典：城端線・氷見線沿線地域公共交通網形成計画（H29）

表 2.1 沿線 4 市に立地する高等学校の一覧

種別	高校名	学科	1 学年の定員		最寄り駅	駅徒歩 (km)	駅徒歩 (分)
			学級数	定員数			
県立	氷見高校	普通	4	160	氷見駅	1.2	17
		農業科学・海洋科学	1	40			
		ビジネス	1	40			
		生活福祉	1	40			
県立	伏木高校	国際交流	3	120	越中国分駅	0.7	9
県立	高岡高校	普通	5	200	越中中川駅	0.2	3
		探求科学	2	80			
県立	高岡工芸高校	機械	1	40	越中中川駅	0.2	2
		電子機械	1	40			
		電気	1	40			
		建築	1	40			
		土木環境	1	40			
		工芸	1	30			
		デザイン・絵画	1	40			
私立	高岡龍谷高校	普通	—	195	越中中川駅	1	12
		調理	—	40			
私立	高岡向陵高校	普通	—	195	越中中川駅	1.9	23
県立	高岡西高校	普通	3	120	高岡駅	2	25
私立	高岡第一高校	普通	—	310	高岡駅	3	35
県立	志貴野高校	普通	—	80	高岡駅	0.3	4
		国際教養	—	40			
		情報ビジネス	—	80			
		生活文化	—	40			
県立	高岡商業高校	流通経済	2	80	高岡駅	3	37
		国際経済	1	40			
		会計	1	40			
		情報処理	2	80			
県立	高岡南高校	普通	5	200	戸出駅	0.6	7
県立	福岡高校	普通	3	120	(福岡駅)	—	—
県立	砺波高校	普通	5	200	砺波駅	0.8	10
県立	砺波工業高校	機械	2	80	東野尻駅	1.9	25
		電気	1	40			
		電子	1	40			
県立	南砺福野高校	普通	4	160	福野駅	0.5	6
		農業環境	1	30			
		福祉	1	30			
県立	南砺福光高校	普通	2	80	福光駅	1.5	18
		国際	1	30			
県立	南砺平高校	普通	1	34	—	—	—

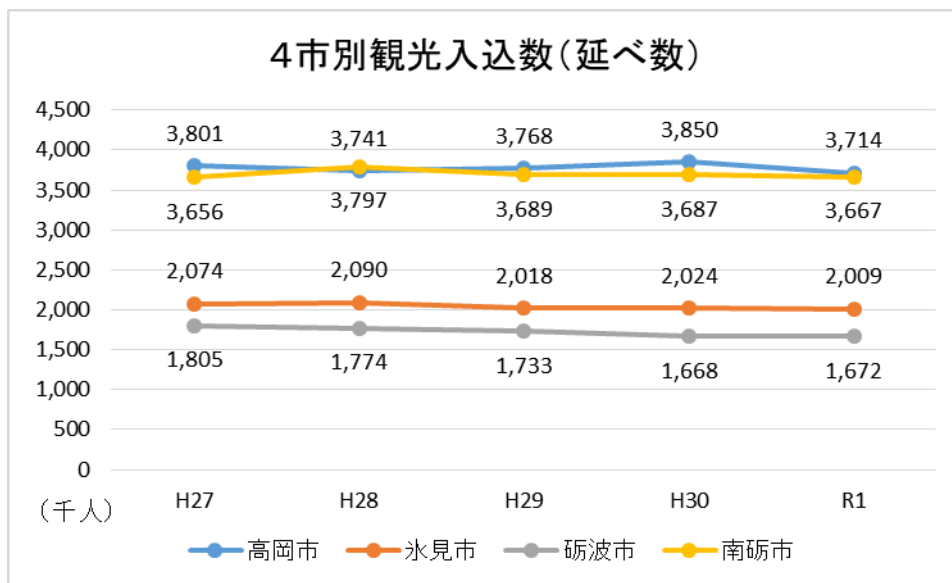
※駅徒歩の距離、分数は、駅前から各校正門付近までを図上計測して算出した概算値
 出典：富山県資料等から構成 定員に関しては平成 28 年度県立高校全日制・定時制課程 1 学年募集定員より

2.1.5 観光

(1) 観光入込客数

○ 観光入込客数は、4市の合計で年間1,100千万人以上。

- ・ 最も少ない砺波市でも約170万人。高岡市と南砺市が約370万人と多い。
- ・ 近年は4市ともに横ばい傾向になっている。



■ 4市別入込数(延べ数)

(単位:千人)

	H27	H28	H29	H30	R1
高岡市	3,801	3,741	3,768	3,850	3,714
氷見市	2,074	2,090	2,018	2,024	2,009
砺波市	1,805	1,774	1,733	1,668	1,672
南砺市	3,656	3,797	3,689	3,687	3,667
4市合計	11,336	11,402	11,208	11,229	11,062

※入込数の公表が了承された観光地点・イベントのみ計上

図表 2.15 4市別入込数(延べ数)

出典: 富山県観光・交通 振興局観光振興室

(2) 外国人宿泊者数

○ 外国人宿泊者数は平成 29 年まで急増していたが、それ以降は横ばい。

- ・ 国籍別に見ると、台湾が圧倒的に多い。

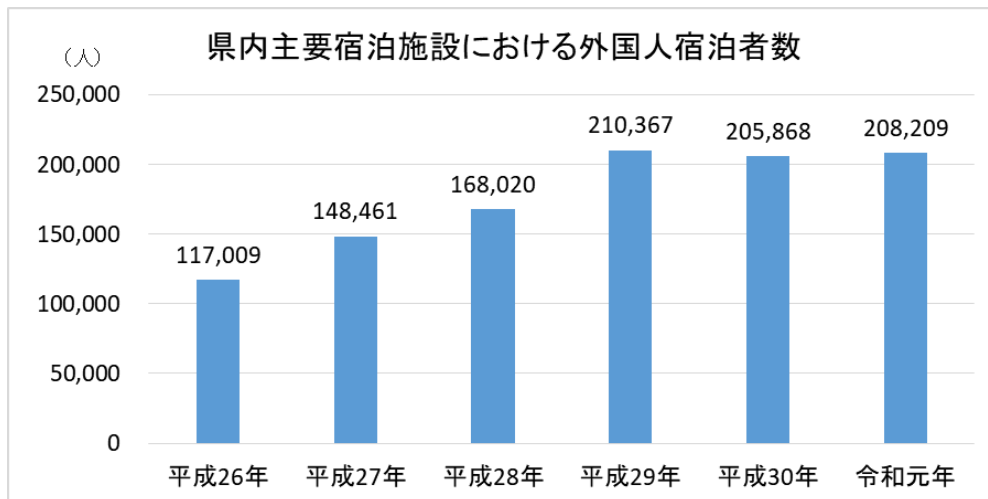


図 2.16 県内主要宿泊施設における外国人宿泊者数の推移

出典：富山県観光・交通 振興局観光振興室

表 2.2 県内主要宿泊施設における外国人宿泊者数

(単位:人)

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
総数	146,576	200,235	229,229	282,286	299,721	328,732
台湾	67,658	67,784	76,396	102,346	94,762	103,891
中国	13,084	25,691	25,412	26,898	30,602	38,321
香港	15,301	26,479	31,810	33,370	36,677	33,001
韓国	12,743	17,259	22,330	35,444	32,671	20,651
タイ	8,223	11,248	12,072	12,309	11,156	12,345
小計	117,009	148,461	168,020	210,367	205,868	208,209

※県観光振興室調べ。県内宿泊施設の全数調査。

出典：富山県観光・交通 振興局観光振興室

(3) 観光施設

○ 沿線4市には、「ひみ番屋街」や「道の駅福光」など、集客力の高い観光施設が立地。

表 2.3 観光施設別の入込客数

■観光地・観光施設		(単位:人)	
	名 称	市町村	R1年入込数
1	富岩運河環水公園	富山市	1,662,000
2	氷見漁港場外市場ひみ番屋街(総湯含む)	氷見市	1,224,700
3	海王丸パーク	射水市	1,189,400
4	道の駅福光	南砺市	1,117,729
5	立山黒部アルペンルート	立山町	882,872
6	高岡古城公園	高岡市	854,500
7	県民公園太閤山ランド	射水市	793,336
8	道の駅カモンパーク新湊	射水市	714,250
9	桜ヶ池	南砺市	662,642
10	五箇山	南砺市	661,000

■イベント・祭り			
	名 称	市町村	R1年入込数
1	となみチューリップフェア	砺波市	325,000
2	山王まつり	富山市	250,000
3	とやまスノーピアード	富山市	216,200
4	富山まつり	富山市	190,000
5	おわら風の盆	富山市	175,000
6	高岡御車山祭	高岡市	154,000
7	戸出七夕まつり	高岡市	150,000
8	高岡七夕まつり	高岡市	140,000
9	高岡万葉まつり	高岡市	135,000
10	高岡桜まつり	高岡市	125,000

※入込数の公表が了承された観光地点・イベントのみ掲載

出典：富山県観光・交通 振興局観光振興室

2.2 移動状況

ここでは国勢調査を基に、通勤・通学における移動状況を整理する

2.2.1 通勤通学移動量（H27）

平成 27 年国勢調査を基に、通勤・通学における移動量を整理する。

- 沿線内では、隣接する市間への通勤・通学が多く、特に氷見市⇔高岡市が 6,000 人超。
- 富山市への通勤・通学も 4 市ともに 1000 人以上

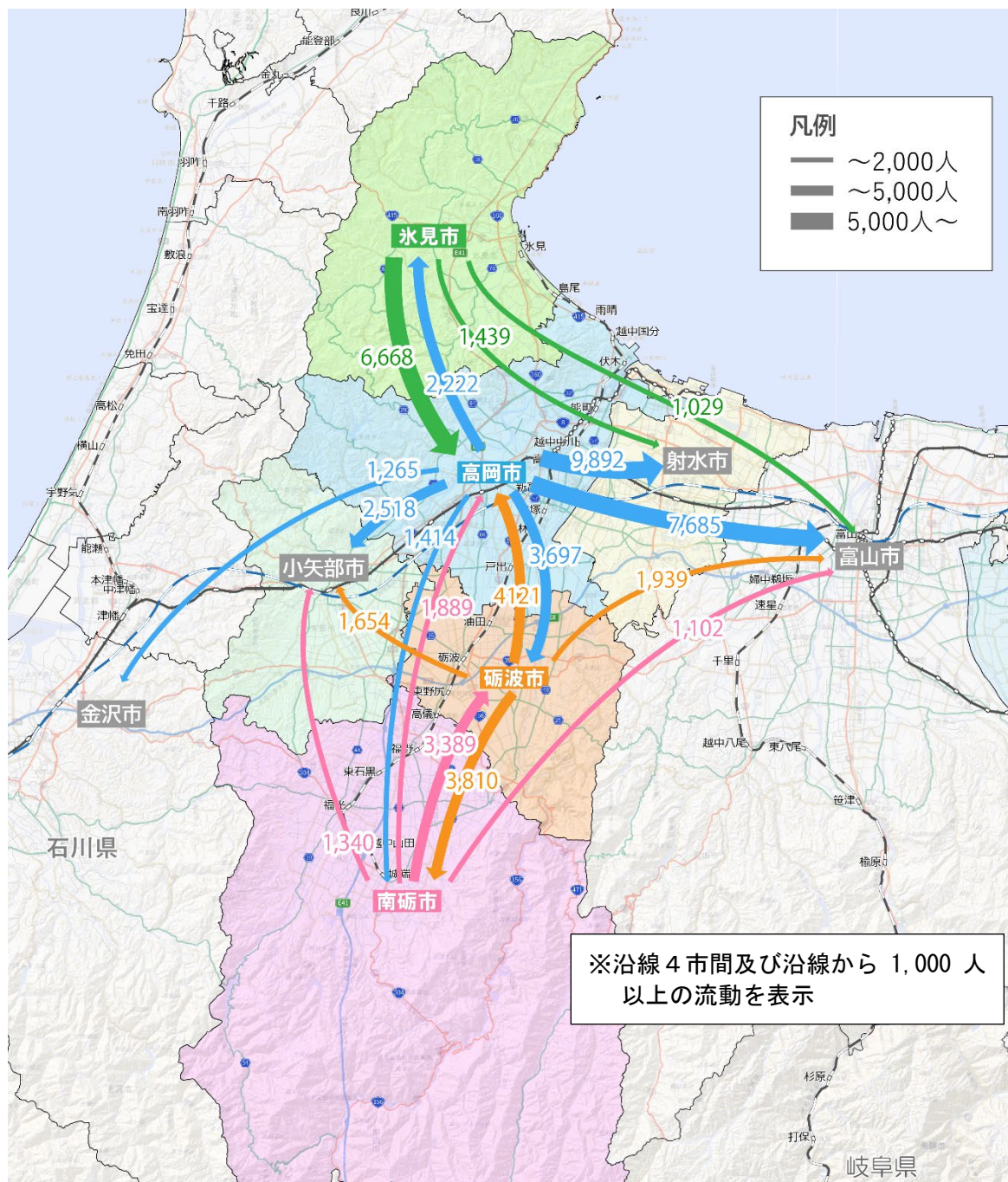


図 2.18 4 市の通勤通学における移動量（平成 27 年）

出典：国勢調査（平成 27 年）

2.2.2 通勤通学における利用交通手段（H22）

平成 22 年国勢調査を基に、通勤・通学における利用交通手段を整理する。

なお、国勢調査における交通手段の調査は 10 年に 1 度であり、対象は人口 10 万人以上の都市（県内では富山市、高岡市）となっている。

- 沿線 4 市間の移動では、約 1 割程度が鉄道を利用（高岡市内は約 3 %）
- 富山市への移動では、15～20%程度が鉄道を利用

(1) 氷見市から

- 高岡市への移動に鉄道・電車を利用しているのは 6.0%。
- 富山市への移動に鉄道・電車を利用しているのは 23.0%

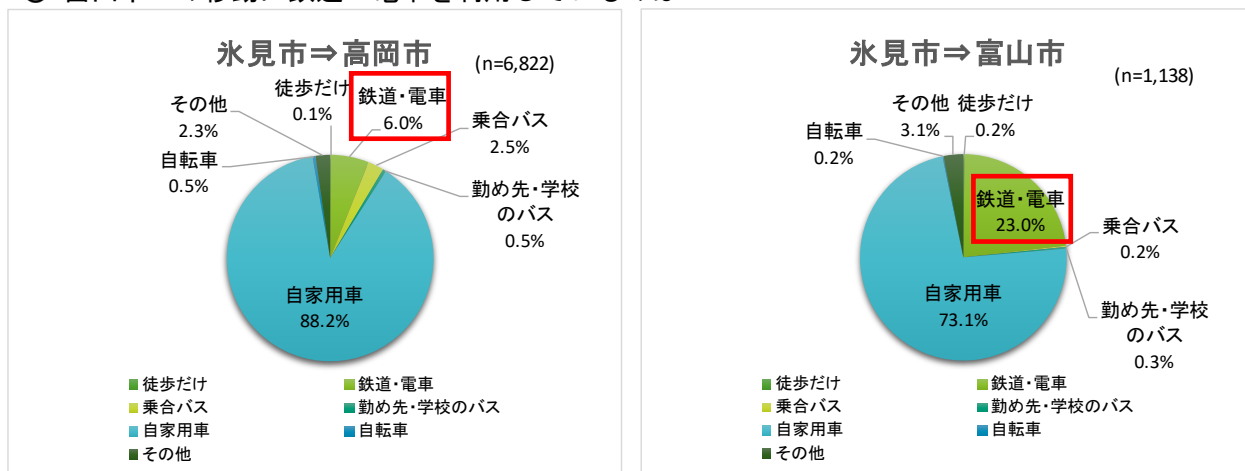


図 2.19 氷見市からの通勤通学における利用交通手段（平成 22 年）

(2) 高岡市から

- 高岡市内への移動に鉄道・電車を利用しているのは 2.6%。
- 富山市への移動に鉄道・電車を利用しているのは 23.2%

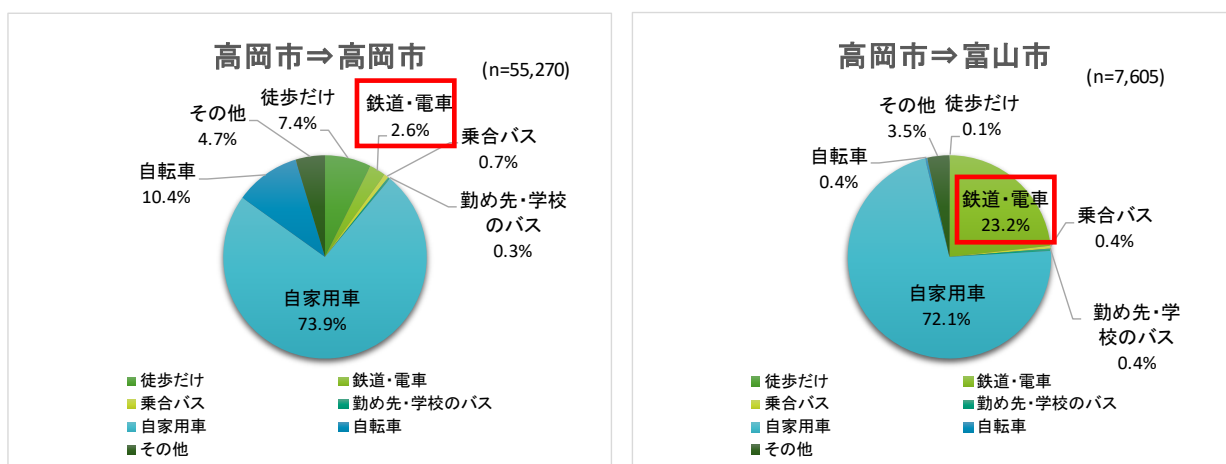


図 2.20 高岡市からの通勤通学における利用交通手段（平成 22 年）

出典：国勢調査（平成 22 年）

(3) 砺波市から

- 高岡市への移動に鉄道・電車を利用しているのは 8.0%。
- 富山市への移動に鉄道・電車を利用しているのは 14.4%

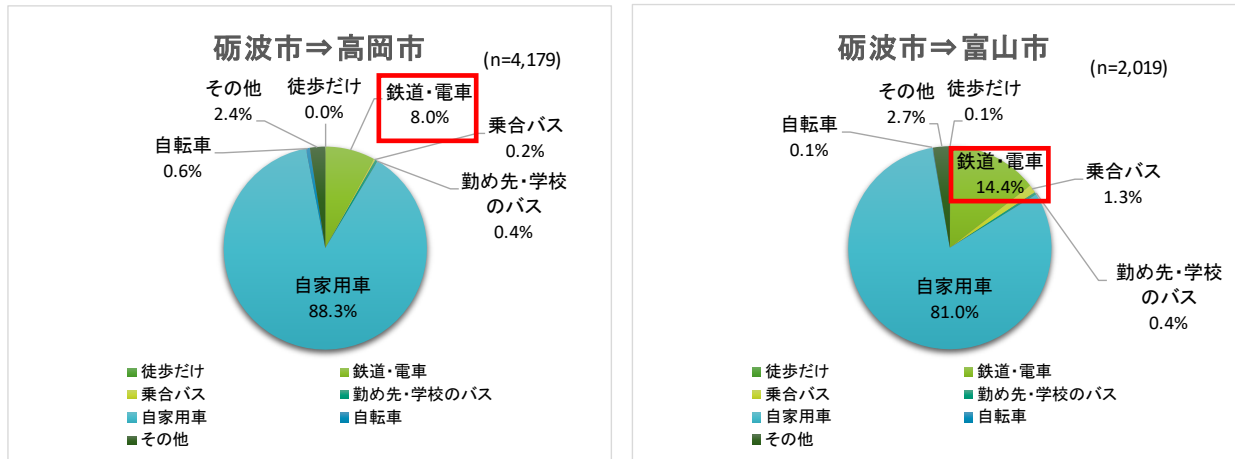


図 2.21 砺波市からの通勤通学における利用交通手段（平成 22 年）

(4) 南砺市から

- 高岡市への移動に鉄道・電車を利用しているのは 16.8%。
- 富山市への移動に鉄道・電車を利用しているのは 17.1%

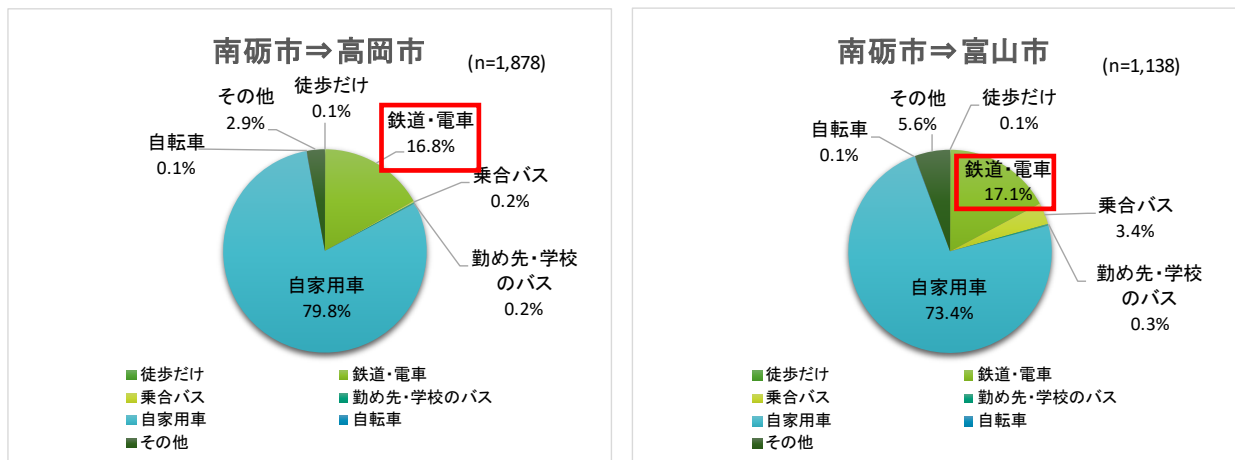


図 2.22 南砺市からの通勤通学における利用交通手段（平成 22 年）

出典：国勢調査（平成 22 年）

2.3 公共交通

2.3.1 公共交通ネットワーク

○ 沿線4市内の公共交通ネットワークは、鉄軌道5路線、民間バス路線、市営バス路線で構成

- ・ 鉄軌道では、4市を南北に「城端線」「氷見線」が結び、高岡駅から東西に「あいの風とやま鉄道」及び射水市方面へ「万葉線」が運行、新高岡駅から東西に「北陸新幹線」が運行する。
- ・ バス交通網は各市の拠点から放射状に延びているほか、民間バス路線では複数の市をまたいで運行する路線が見られる。
- ・ 市営のバス路線は、鉄軌道や民間バス路線が行き届かない地域や山間部等へ多様な路線が運行されている。

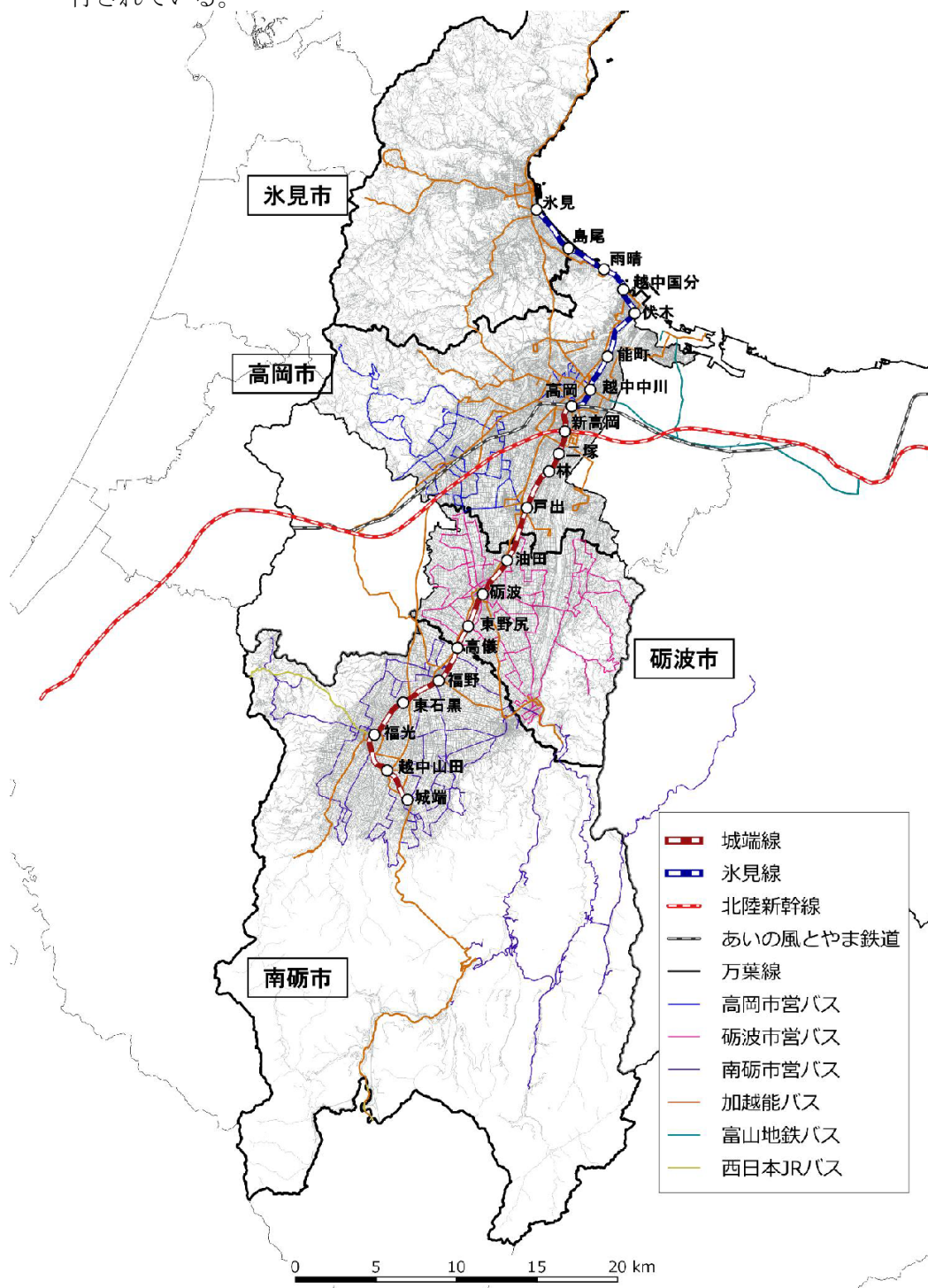


図 2.23 4市の公共交通網

出典：城端線・氷見線沿線地域公共交通網形成計画（H29）

2.3.2 城端線・氷見線の運行状況

- 運行本数は、朝・夕が1～2本/時、日中が概ね1本/時程度
- 表定速度は、33～35 km/時程度
- 駅間距離は、平均2.3～2.4 km程度

(1) 運行本数

- ・ 城端線・氷見線の運行本数は、氷見線が概ね朝・夕1～2本/時、日中が概ね1本/時、城端線が概ね朝・夕2本/時、日中が1本/時となっている。

表 2.4 城端線・氷見線の運行本数

	氷見線	城端線
朝・夕	1～2本/時（30分～1時間間隔）	2本/時（30分間隔）
日中	概ね1本/時（1時間間隔）	1本/時（1時間間隔）

(2) 表定速度

- ・ 城端線・氷見線の表定速度は、氷見線が約33.0 km/時、城端線が約34.5 km/時で概ね同等となっている。

表 2.5 城端線・氷見線の表定速度

	氷見線（氷見～高岡）	城端線（城端～高岡）
路線延長	16.5 km	29.9 km
所要時間（平均）	30分	52分
表定速度	33.0 km/時	34.5 km/時

(3) 駅間距離

- ・ 城端線・氷見線の駅間距離は、氷見線が約2.4 km、城端線が約2.3 kmで概ね同等となっている。

表 2.6 城端線・氷見線の駅間距離

	氷見線（氷見～高岡）	城端線（城端～高岡）
路線延長	16.5 km	29.9 km
駅数	8 駅	14 駅
駅間距離（平均）	約2.4 km	約2.3 km

【参考】氷見線のダイヤ（令和2年12月現在）

氷見線 氷見駅発（平日）			氷見線 氷見駅発（休日）		
2020年12月2日(水)の時刻表を表示しています			2020年12月6日(日)の時刻表を表示しています		
※表示の日付の午前4時台～翌日の午前3時台までの時刻表を表示します (例：12月31日の時刻表 → 12月31日午前4時台～1月1日午前3時台の時刻表を表示)			※表示の日付の午前4時台～翌日の午前3時台までの時刻表を表示します (例：12月31日の時刻表 → 12月31日午前4時台～1月1日午前3時台の時刻表を表示)		
時	分		時	分	
5	高岡	30	5	高岡	30
6	高岡	8	高岡	8	38
7	高岡	26	7	高岡	26
8	高岡	22	高岡	22	49
9	高岡	30	9	高岡	30
10	高岡	22	10	高岡	22
11	高岡	49	11	高岡	49
12	高岡	44	12	高岡	44
13	高岡		13	高岡	
14	高岡	24	14	高岡	24
15	高岡	7	15	高岡	15
16	高岡	13	16	高岡	7
17	高岡	2	17	高岡	13
18	高岡	36	18	高岡	2
19	高岡	16	19	高岡	36
20	高岡		20	高岡	16
21	高岡	8	21	高岡	8
22	高岡		22	高岡	

表示の時刻・のりば等の情報はあくまでも目安としてご利用ください。

列車 高岡 普通 特急
 <行先> ※接続列車の運転日にご注意ください。
 高岡 高岡

氷見線 高岡駅発（平日）			氷見線 高岡駅発（休日）		
2020年12月2日(水)の時刻表を表示しています			2020年12月6日(日)の時刻表を表示しています		
※表示の日付の午前4時台～翌日の午前3時台までの時刻表を表示します (例：12月31日の時刻表 → 12月31日午前4時台～1月1日午前3時台の時刻表を表示)			※表示の日付の午前4時台～翌日の午前3時台までの時刻表を表示します (例：12月31日の時刻表 → 12月31日午前4時台～1月1日午前3時台の時刻表を表示)		
時	分		時	分	
6	氷見	0	6	氷見	0
7	氷見	38	7	氷見	38
8	氷見	7	8	氷見	7
9	氷見	43	9	氷見	43
10	氷見	12	10	氷見	25
11	氷見	3	11	氷見	12
12	氷見	47	12	氷見	3
13	氷見		13	氷見	47
14	氷見	22	14	氷見	25
15	氷見	23	15	氷見	22
16	氷見	27	16	氷見	23
17	氷見	15	17	氷見	27
18	氷見	41	18	氷見	15
19	氷見	22	19	氷見	41
20	氷見	33	20	氷見	22
21	氷見	50	21	氷見	33
22	氷見		22	氷見	50

表示の時刻・のりば等の情報はあくまでも目安としてご利用ください。

列車 高岡 普通 特急
 <行先> ※接続列車の運転日にご注意ください。
 氷見 氷見

出典：J R 西日本ホームページ

【参考】城端線のダイヤ（令和2年12月現在）

城端線 城端駅発（平日）			城端線 城端駅発（休日）		
2020年12月2日(水)の時刻表を表示しています			2020年12月6日(日)の時刻表を表示しています		
※表示の日付の午前4時台～翌日の午前3時台までの時刻表を表示します (例：12月31日の時刻表 → 12月31日午前4時台～1月1日午前3時台の時刻表を表示)			※表示の日付の午前4時台～翌日の午前3時台までの時刻表を表示します (例：12月31日の時刻表 → 12月31日午前4時台～1月1日午前3時台の時刻表を表示)		
時	分		時	分	
5	高岡	49	5	高岡	49
6	高山	10	6	高山	10
7	◆高山	1	7	◆高岡	1
8	高岡	38	8	高岡	38
9			9		
10	高岡	4	10	高岡	4
11	高岡	2	11	高岡	2
12	高岡	45	12	高岡	45
13	高岡	23	13	高岡	23
14	高岡	22	14	高岡	22
15	高岡	24	15	高岡	24
16	高岡	16	16	高岡	16
17	高岡	1	17	高岡	1
18	高岡	45	18	高岡	45
19	高岡	22	19	高岡	22
20	高岡	40	20	高岡	40
21	高岡	35	21	高岡	35
22	高岡	32	22	高岡	32

表示の時刻・のりば等の情報はあくまでも目安としてご利用ください。

印事
 高岡 → 高岡
 ◆高山 → 表示の日付以外では、運転していない。または行先・時刻などが変更となる場合がありますので、数字（リンク）をクリックし内容をご確認ください。

<行先> ※接続列車の運転日にご注意ください。
 高岡 → 高岡 高山 → 高山

城端線 高岡駅発（平日）			城端線 高岡駅発（休日）		
2020年12月2日(水)の時刻表を表示しています			2020年12月6日(日)の時刻表を表示しています		
※表示の日付の午前4時台～翌日の午前3時台までの時刻表を表示します (例：12月31日の時刻表 → 12月31日午前4時台～1月1日午前3時台の時刻表を表示)			※表示の日付の午前4時台～翌日の午前3時台までの時刻表を表示します (例：12月31日の時刻表 → 12月31日午前4時台～1月1日午前3時台の時刻表を表示)		
時	分		時	分	
5	城端	35	5	城端	35
6	城端	10	6	城端	10
7	城端	3	7	城端	3
8	城端	0	8	城端	0
9	城端	2	9	城端	2
10	城端	12	10	城端	12
11	城端	51	11	城端	51
12	城端	51	12	ベルモ◆新高岡	7
13	城端	44	13	城端	44
14	城端	30	14	城端	30
15	城端	41	15	城端	41
16	城端	46	16	城端	46
17	城端	28	17	城端	28
18	城端	11	18	城端	11
19	城端	41	19	城端	41
20	城端	19	20	城端	19
21	城端	53	21	城端	53
22	城端		22	城端	
23	城端	11	23	城端	11

表示の時刻・のりば等の情報はあくまでも目安としてご利用ください。

印事
 高岡 → 高岡
 ◆ベルモ → ベルモーター・エクスプレス（ベルモ）
 ◆新高岡 → 表示の日付以外では、運転していない。または行先・時刻などが変更となる場合がありますので、数字（リンク）をクリックし内容をご確認ください。

<行先> ※接続列車の運転日にご注意ください。
 城端 → 城端 新高岡 → 新高岡

出典：J R 西日本ホームページ

2.3.3 鉄道乗継におけるダイヤ接続状況

(1) 城端線・氷見線間（高岡駅）

○ 城端線・氷見線間では、特に氷見線から城端線への日中・夕方以降で待ち時間が長い

- ・ 全時間帯ともに、氷見線から城端線への接続が悪く、日中と夕方以降は平均で 20 分以上、最長で 30 分以上の列車がある。
- ・ 城端線から氷見線は比較的接続が良いが、夕方以降で最長 20 分を超える列車がある。

城端線 ⇒ 氷見線

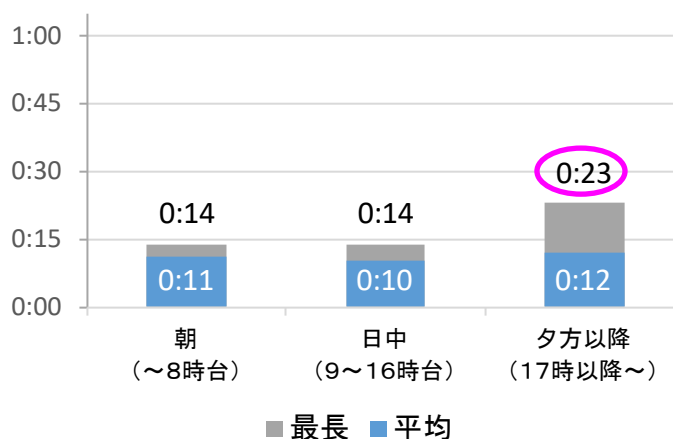


図 2.24 城端線から氷見線への乗換時間

氷見線 ⇒ 城端線

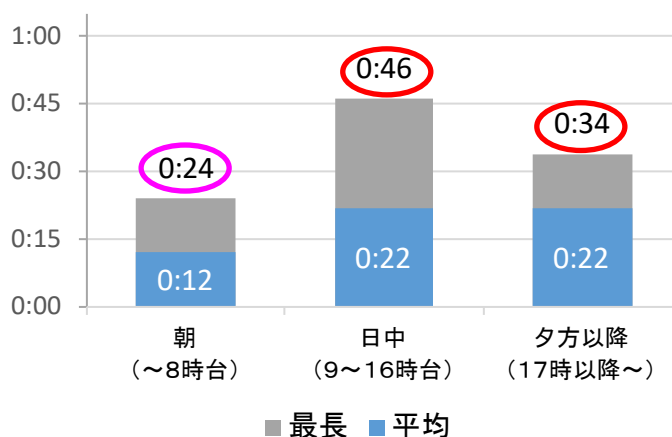


図 2.25 氷見線から城端線への乗換時間

※時間帯は各路線高岡駅到着時間による

(2) 氷見線・城端線からあいの風とやま鉄道へ【朝・日中】（高岡駅）

- 氷見線・城端線からあいの風とやま鉄道へは、日中の接続時間が比較的長い。
- 特に城端線からは 30 分を超える列車がある。

1) 城端線⇒あいの風とやま鉄道へ

- ・ 朝時間帯は、富山方面・金沢方面ともに最大 10 分程度と比較的接続が良い。
- ・ 日中は、平均 15 分程度、最長で 30 分以上と氷見線より長くなっている。

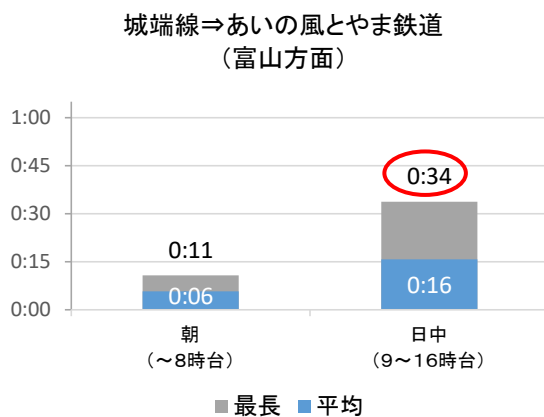


図 2.26 城端線からあいの風とやま鉄道
(富山方面) への乗換時間

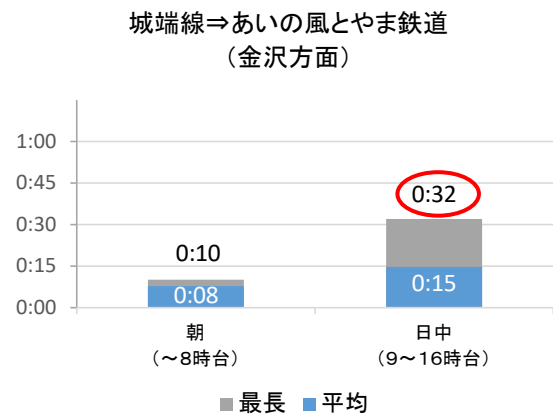


図 2.27 城端線からあいの風とやま鉄道
(金沢方面) への乗換時間

2) 氷見線⇒あいの風とやま鉄道へ

- ・ 朝時間帯は、富山方面・金沢方面ともに平均 5～6 分、最大 10 分程度と比較的接続が良い。
- ・ 日中は、平均 10 分程度であるが、最長で 20 分以上の列車もある。

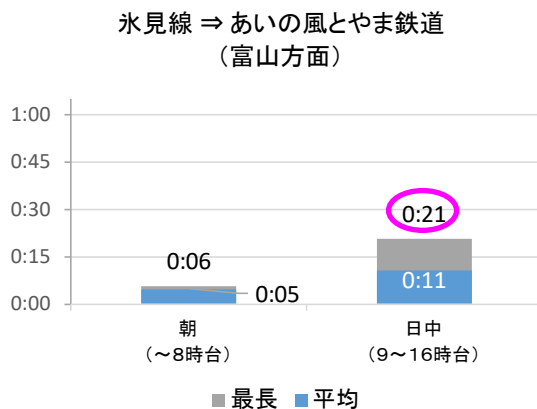


図 2.28 氷見線からあいの風とやま鉄道
(富山方面) への乗換時間

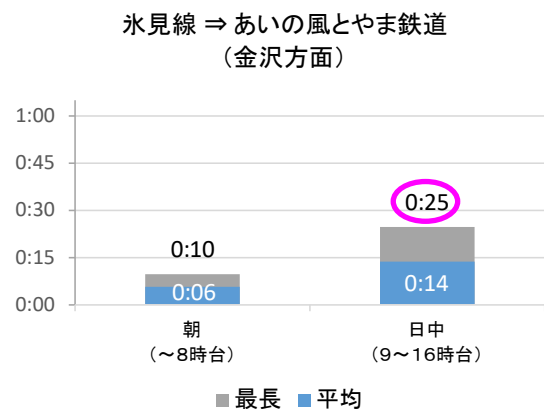


図 2.29 氷見線からあいの風とやま鉄道
(金沢方面) への乗換時間

※氷見線・城端線の全列車を対象に最も短い時間で接続するあいの風とやま鉄道列車を集計
※時間帯は氷見線・城端線高岡駅到着時間による

(3) あいの風とやま鉄道から氷見線・城端線へ【日中・夕方以降】（高岡駅）

○ あいの風とやま鉄道から氷見線・城端線への接続は、日中・夕方以降とも 1 時間以上の列車がある。

1) あいの風とやま鉄道⇒城端線へ

- ・ あいの風とやま鉄道から城端線へは、城端線の運行本数が少ないことにより、日中・夕方以降とも 1 時間以上の列車がある。
- ・ 平均では、金沢方面から城端線の日中は 15 分と比較的良好だが、その他は 30 分程度となっている。

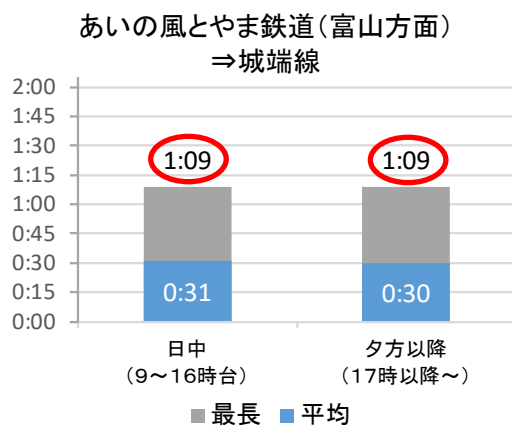


図 2.30 あいの風とやま鉄道（富山方面）から城端線への乗換時間

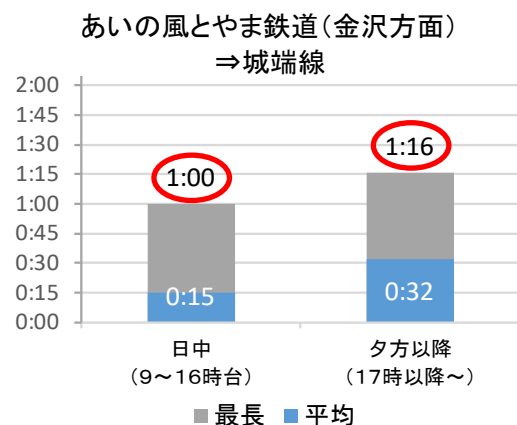


図 2.31 あいの風とやま鉄道（金沢方面）から城端線への乗換時間

2) あいの風とやま鉄道⇒氷見線へ

- ・ あいの風とやま鉄道から氷見線へは、氷見線の運行本数が少ないことにより、日中は 1 時間超え、夕方以降でも 1 時間近い待ち時間の列車がある。
- ・ 平均では、日中・夕方以降ともに 30 分程度となっている。

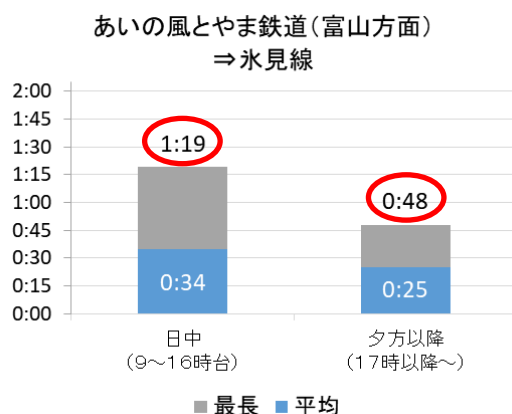


図 2.32 あいの風とやま鉄道（富山方面）から城端線への乗換時間

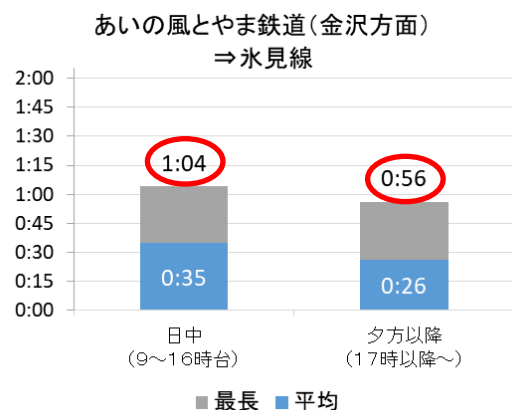


図 2.33 あいの風とやま鉄道（金沢方面）から城端線への乗換時間

※あいの風とやま鉄道の全列車を対象に最も短い時間で接続する城端線・氷見線列車を集計
※時間帯はあいの風とやま鉄道高岡駅到着時間による

(4) 城端線から北陸新幹線へ【朝・日中】（新高岡駅）

○ 城端線から北陸新幹線への接続時間は、高岡方面からは朝・日中ともに、城端方面からは日中に 1 時間程度の列車がある。

1) 城端線（高岡方面）⇒北陸新幹線へ

- ・ 城端線（高岡方面）から、北陸新幹線（富山方面）へは朝・日中で最大 50 分～1 時間程度、北陸新幹線（金沢方面）へは朝で最大 50 分程度となっている、
- ・ 平均では、朝・日中ともに 30 分程度となっている。

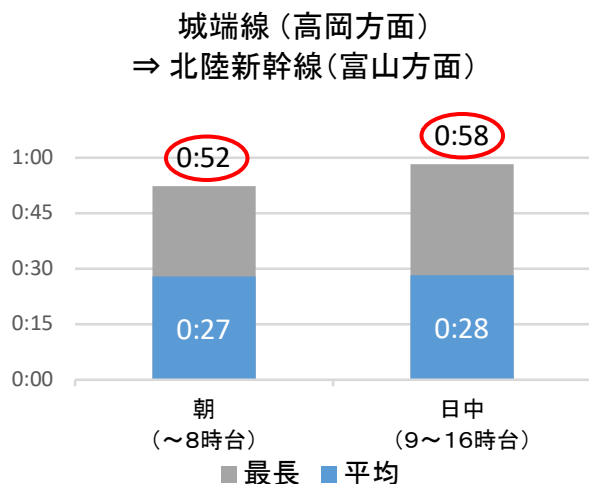


図 2.34 城端線（高岡方面）から北陸新幹線（富山方面）への乗換時間

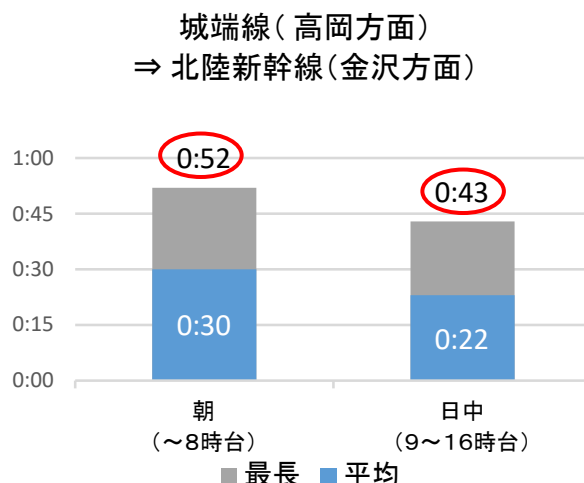


図 2.35 城端線（高岡方面）から北陸新幹線（金沢方面）への乗換時間

2) 城端線（城端方面）⇒北陸新幹線へ

- ・ 城端線（城端方面）から、北陸新幹線（富山方面）へは日中で最大 40 分程度、北陸新幹線（金沢方面）へは日中で最大 1 時間程度となっている、
- ・ 朝時間帯は、富山方面・金沢方面ともに、平均 15 分程度、最大 20～30 分程度となっている。

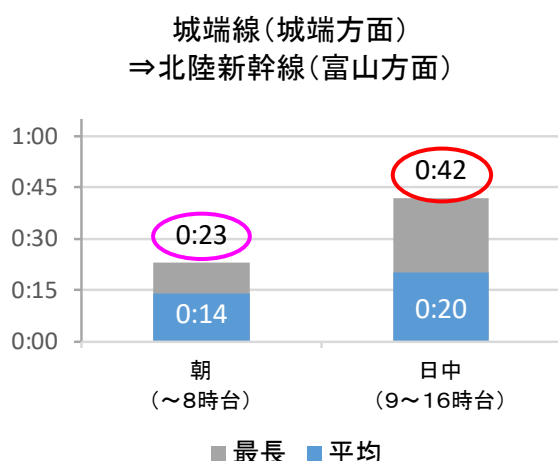


図 2.36 城端線（城端方面）から北陸新幹線（富山方面）への乗換時間

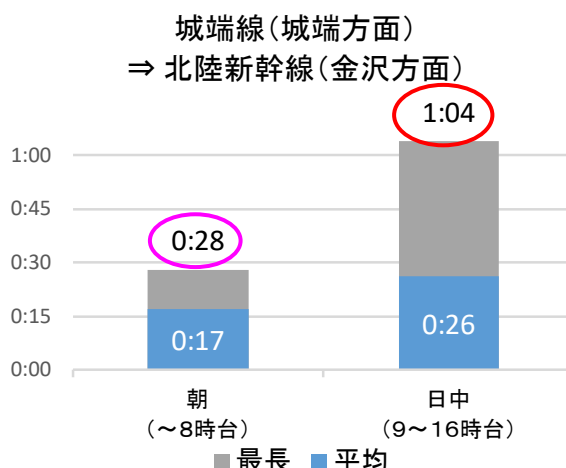


図 2.37 城端線（城端方面）から北陸新幹線（金沢方面）への乗換時間

※北陸新幹線の全列車を対象に最も短い時間で接続する城端線の列車を集計
※時間帯は城端線新高岡駅到着時間による

(5) 北陸新幹線から城端線へ【日中・夕方以降】（新高岡駅）

○ 北陸新幹線から城端線への接続は、日中・夕方以降とも 1 時間程度以上の列車がある。

1) 北陸新幹線⇒城端線（高岡方面）へ

- ・ 北陸新幹線から城端線（高岡方面）へは、城端線の運行本数が少ないことにより、日中・夕方以降ともに最大 1 時間以上の待ち時間の列車がある。
- ・ 平均では、20～30 分程度となっている。

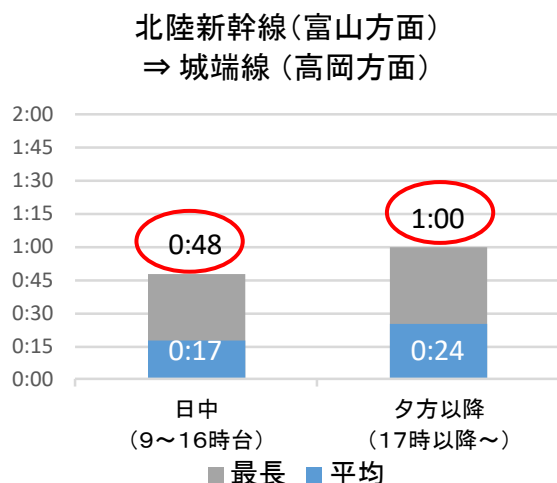


図 2.38 北陸新幹線（富山方面）から城端線（高岡方面）への乗換時間

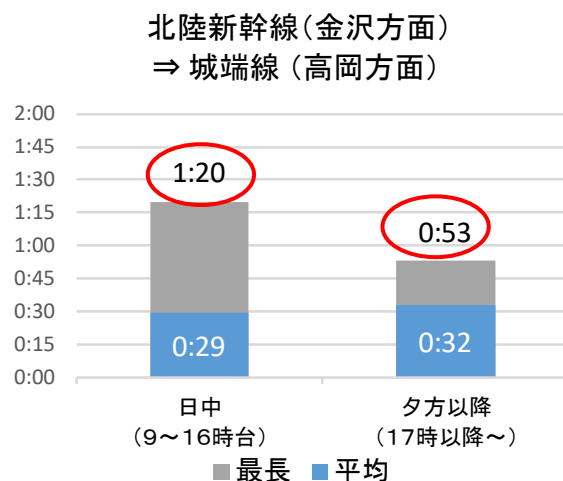


図 2.39 北陸新幹線（金沢方面）から城端線（高岡方面）への乗換時間

2) 北陸新幹線⇒城端線（城端方面）へ

- ・ 北陸新幹線から城端線（城端方面）へは、城端線の運行本数が少ないことにより、日中は最長 1 時間近く、夕方以降では 90 分程度の待ち時間の列車がある。
- ・ 平均では、日中・夕方以降ともに 30～40 分程度となっている。

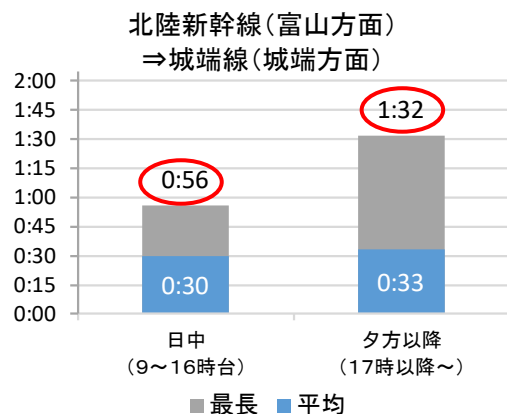


図 2.40 北陸新幹線（富山方面）から城端線（城端方面）への乗換時間

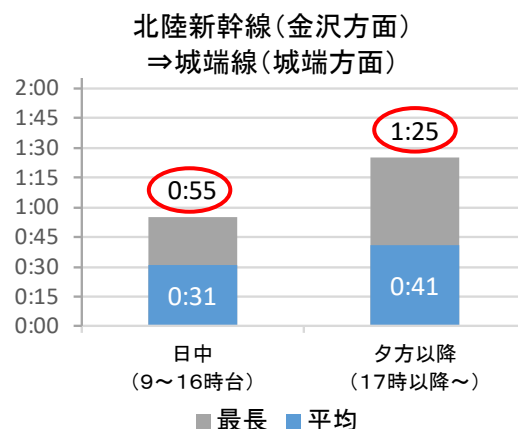


図 2.41 北陸新幹線（金沢方面）から城端線（城端方面）への乗換時間

※北陸新幹線の全列車を対象に最も短い時間で接続する城端線の列車を集計
※時間帯は北陸新幹線新高岡駅到着時間による

2.3.4 城端線・氷見線と競合する路線

(1) 氷見線と競合する路線

○ 氷見線と競合する主な路線は、「万葉線」や「氷見方面からの路線バス」など。

- ・ 氷見線と競合する路線は、軌道である「万葉線」、バスは「守山・氷見方面」、「富山方面」伏木・氷見方面、「氷見・和倉温泉方面」がある。



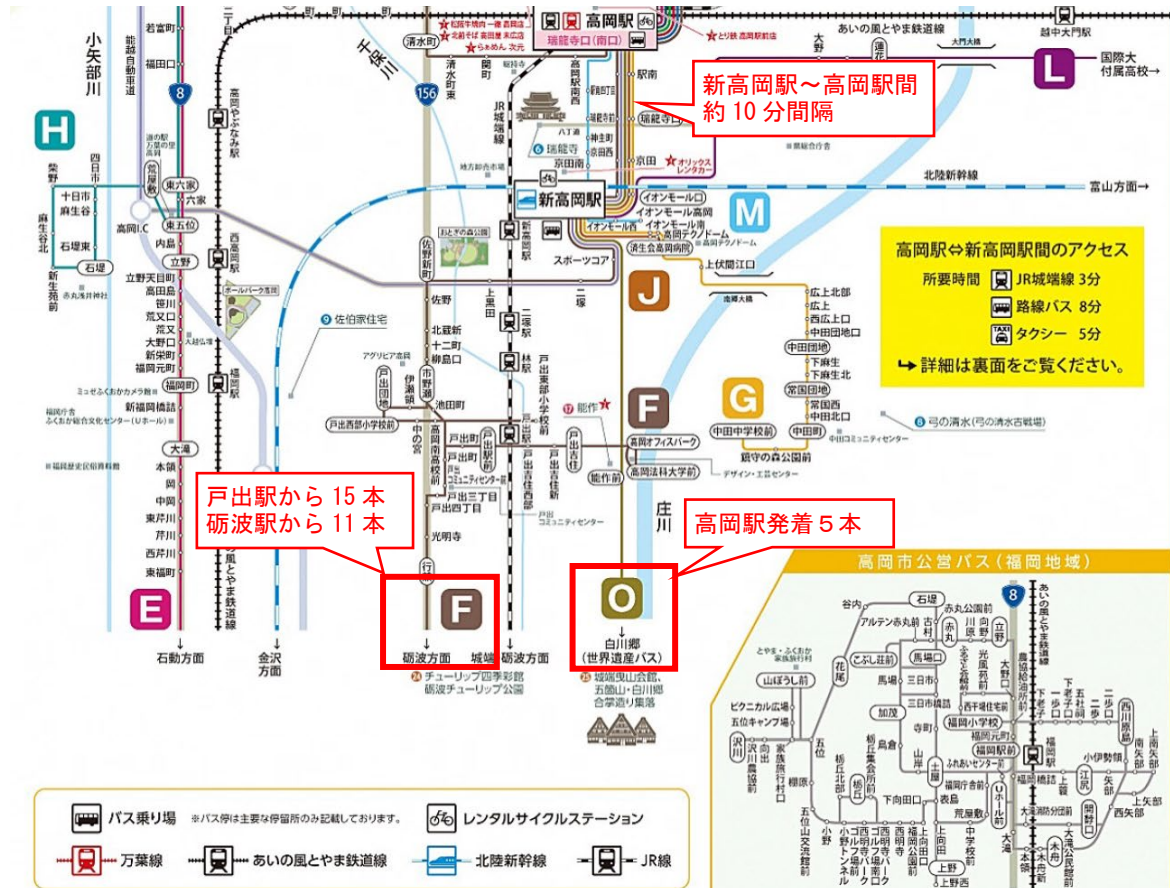
	方面	路線名	起点	新高岡駅のりば	高岡駅のりば	経路	終点
路線バス	新湊方面	万葉線	高岡駅		北口 南口	広小路、米島口、西新湊	越ノ湯
	A 守山・氷見方面	脇線・氷見市民病院	済生会高岡病院	2	4 2	新守山、氷見中央	脇・氷見市民病院
		伏木駅経由氷見線	済生会高岡病院	2	4 2	伏木駅前、雨晴	氷見市民病院
	B 伏木・氷見方面	高岡ふしき病院経由氷見線	済生会高岡病院	2	4 2	高岡ふしき病院、雨晴	氷見市民病院
		伏木循環線(東回り) ◆は土日祝日のみ ◆※送迎時間により送迎しないものあり	イオンモール高岡	2	4 2	伏木駅前、高岡ふしき病院	新高岡駅 ◆
		伏木循環線(西回り)	イオンモール高岡	2	4 2	高岡ふしき病院 ◆、伏木駅前	新高岡駅 ◆
	C 佐加野・氷見方面	南波岡線	高岡駅前	3	3 2	金屋、横田本町	南波岡
		国吉線	イオンモール高岡	1	3 2	金屋、横田本町	国吉
		仏生寺経由氷見線	済生会高岡病院	1	3 2	金屋、横田本町、仏生寺	氷見市民病院
	D 城光寺方面	富山高岡キャンパス経由城光寺線	イオンモール高岡	2	5 2	富山高岡キャンパス	城光寺運動公園
	E 福岡・石動方面	石動線	済生会高岡病院	1	3 2	金屋、横田本町、福岡町	石動駅前
		高岡法科大学線	高岡駅前	3	2 1	新高岡駅、清水町、戸出駅前、高岡オフィスパーク	高岡法科大学前
	F 戸出・砺波方面	庄川町線	高岡駅前	3	2 1	新高岡駅、清水町、戸出駅前、砺波総合病院	庄川町
		小牧線	高岡駅前	3	2 1	新高岡駅、清水町、戸出駅前、砺波総合病院	小牧堤
		戸出東部小学校線	高岡駅前	3	2 1	新高岡駅、清水町、市野瀬	戸出東部小学校前
	G 中田方面	済生会高岡病院・中田団地経由中田線	高岡駅南口	3	1	新高岡駅、済生会高岡病院、中田団地	中田中学校前
	H 石堤方面	石堤循環線	高岡駅前		3	厚生連病院、石堤、東五位	高岡駅前
	I 市内(北部)	市内3系統線、4系統線、5系統線、第一高校線	高岡駅前		3	金屋、厚生連病院前	高岡駅前
観光路線バス	新高岡駅線	高岡駅	高岡駅	3	1 1	新高岡駅、瑞龍寺口、イオンモール口	新高岡駅
	市内(南部)	済生会高岡病院線	高岡駅	3	1 1	新高岡駅、瑞龍寺口、イオンモール口	済生会高岡病院
	K 厚生連病院方面	厚生連病院前線(特定輸送)	高岡駅		6	片原横町	厚生連病院前
	富山高岡線	富山高岡線	高岡駅		5	野村、小杉	富山駅前
	L 富山方面	国際大付属高校線	新高岡駅	3		蓮花寺、大門中学校、小杉	国際大付属高校
	M 瑞龍寺方面	瑞龍寺線シャトルバス	高岡駅南口	3	1	新高岡駅、瑞龍寺前	イオンモール高岡
	N 氷見・和倉温泉	わくライナー	高岡駅前	4	7	ひみ番屋街、七尾駅前	和倉温泉
	O 五箇山・白川郷	世界遺産バス	高岡駅前	4	7	能作前、城端駅前、相倉口・菅沼	白川郷

資料：高岡市公共交通マップ

(2) 城端線と競合する路線

- 城端線と競合する主な路線は、「砺波駅以北（新高岡駅～高岡駅間は高頻度）の路線バス」など。

- ・ 城端線と競合するバス路線は、「新高岡駅～高岡駅間」、「戸出・砺波方面」、「五箇山白川郷方面」がある。



	方面	路線名	起点	新高岡駅のりば	高岡駅のりば	経路	終点
路線バス	新湊方面	万葉線	高岡駅		北口 南口	広小路、米島口、西新湊	越ノ湯
	A 守山・氷見方面	脇線・氷見市民病院	済生会高岡病院	2	4 2	新守山、氷見中央	脇・氷見市民病院
	B 伏木・氷見方面	伏木駅経由氷見線	済生会高岡病院	2	4 2	伏木駅前、雨晴	氷見市民病院
		高岡ふしき病院経由氷見線	済生会高岡病院	2	4 2	高岡ふしき病院、雨晴	氷見市民病院
		伏木循環線(東回り) ◆は土日祝日のみ ※臨時運行により多少の遅れあり	◆イオンモール高岡	◆	4 2	伏木駅前、高岡ふしき病院	新高岡駅 ◆
	C 佐加野・氷見方面	南波岡線	高岡駅前	3	2 1	金屋、横田本町	南波岡
		国吉線	イオンモール高岡	1	3 2	金屋、横田本町	国吉
	D 城光寺方面	仏生寺経由氷見線	済生会高岡病院	1	3 2	金屋、横田本町、仏生寺	氷見市民病院
		富山高岡キャンパス経由城光寺線	イオンモール高岡	2	5 2	富山高岡キャンパス	城光寺運動公園
	E 福岡・石動方面	石動線	済生会高岡病院	1	3 2	金屋、横田本町、福岡町	石動駅前
	F 戸出・砺波方面	高岡法科大学線	高岡駅前	3	2 1	新高岡駅、清水町、戸出駅前、高岡オフィスパーク	高岡法科大学前
		庄川町線	高岡駅前	3	2 1	新高岡駅、清水町、戸出駅前、砺波総合病院	庄川町
		小牧線	高岡駅前	3	2 1	新高岡駅、清水町、戸出駅前、砺波総合病院	小牧堰
		戸出東部小学校線	高岡駅前	3	2 1	新高岡駅、清水町、市野瀬	戸出東部小学校前
	G 中田方面	済生会高岡病院・中田団地経由中田線	高岡駅南口	3	1	新高岡駅、済生会高岡病院、中田団地	中田中学校前
	H 石堤方面	石堤循環線	高岡駅前	3	3	厚生連病院、石堤、東五位	高岡駅前
	I 市内(北部)	市内3系統線、4系統線、5系統線、第一高校線	高岡駅前	3	3	金屋、厚生連病院前	高岡駅前
	J 市内(南部)	新高岡駅線	高岡駅	3	1 1	新高岡駅、瑞龍寺口、イオンモール口	新高岡駅
		済生会高岡病院線	高岡駅	3	1 1	新高岡駅、瑞龍寺口、イオンモール口	済生会高岡病院
	K 厚生連病院方面	厚生連病院前線(特定輸送)	高岡駅	6		片原横町	厚生連病院前
	L 富山方面	富山高岡線	高岡駅	3	5	野村、小杉	富山駅前
	M 瑞龍寺方面	国際大付属高校線	新高岡駅	3		蓮花寺、大門中学校、小杉	国際大付属高校
		瑞龍寺線シャトルバス	高岡駅南口	3	1	新高岡駅、瑞龍寺前	イオンモール高岡
観光路線バス	N 氷見・和倉温泉	わくライナー	高岡駅前	4	7	ひみ番屋街、七尾駅前	和倉温泉
	O 五箇山・白川郷	世界遺産バス	高岡駅前	4	7	能作前、城端駅前、相倉口・菅沼	白川郷

資料：高岡市公共交通マップ

(3) 富山市行高速バス（砺波・城端線）

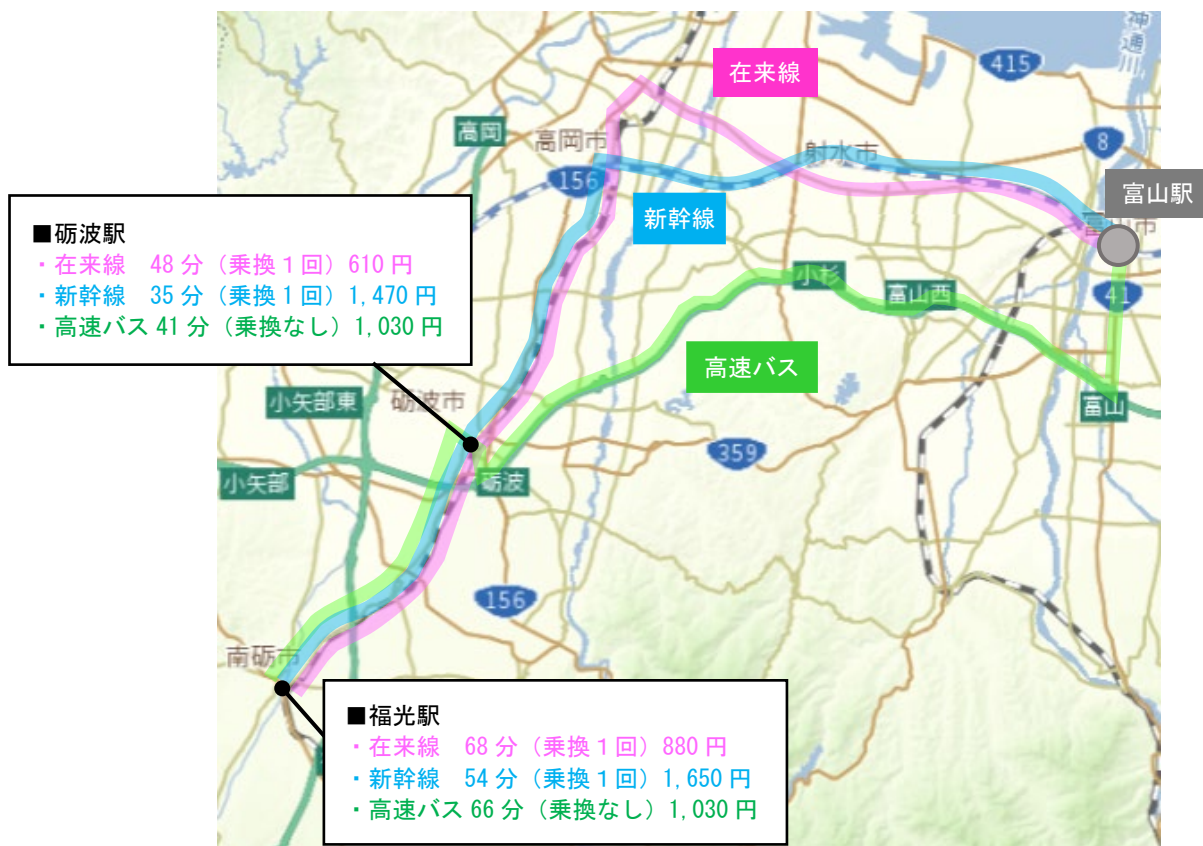
○ 南砺市・砺波市から富山市へ、通勤通学向け的高速バスが運行されている。

- ・ 南砺市・砺波市の中心部である福光駅・砺波駅と富山駅間の所要時間を比較すると、バスの方が短く、さらに乗換がないことや割引率が高い回数券・定期券が設定されていること、富山市中心市街地にも停車すること等から高い競争力を有していると推察される。
（鉄道の直通便もあるが、高岡駅の停車時間により乗換利用よりも所要時間が長い）

表 2.7 富山市行高速バス（砺波・城端線）の運行概要

	平日	休日		
ダイヤ 運行本数	朝・夕に4往復 朝：城端行政センター発： 6:30、6:45、7:00、7:15 夕：富山駅前発： 17:55、18:10、19:20、20:30	朝・夕に2往復 朝：城端行政センター発： 6:55、9:00 夕：富山駅前発： 16:45、18:10		
所要時間	下図の通り			
料金		片道運賃		回数券(大人のみ/4枚綴り)
	富山市内 ⇄ 城端・福光・福野・砺波	大人 1,030円	小人 520円	2,400円(1枚当り 600円)
※定期券（回数券より割引率が高い）の設定もあり				

資料：富山地方鉄道ホームページ



※所要時間は7時台までの最速のもの、運賃は普通片道

図 2.42 富山駅までの運行サービスの比較

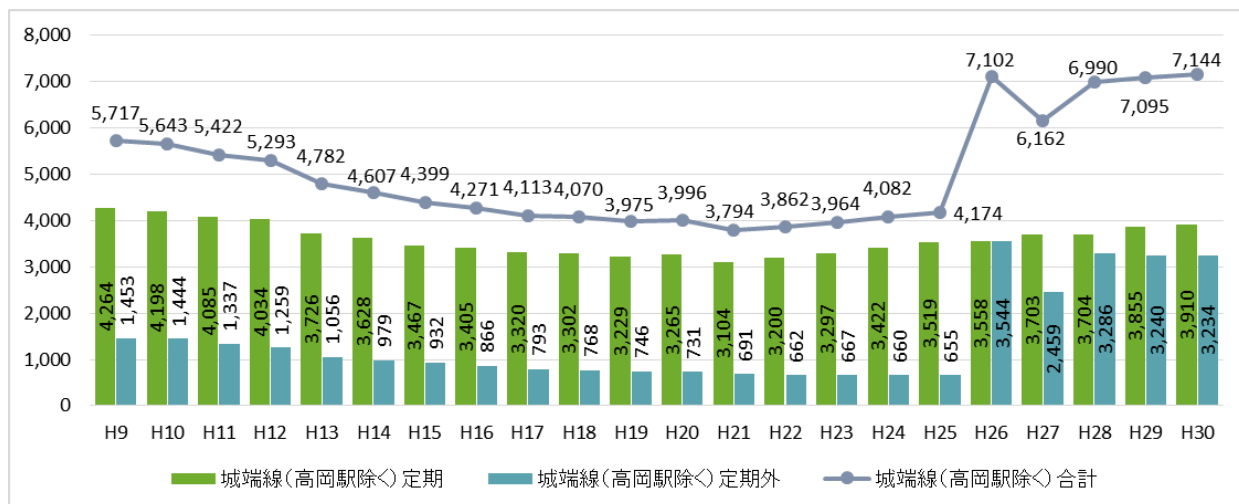
2.3.5 利用状況

(1) 路線別の利用状況

1) 城端線の利用状況

○ 城端線の乗車人員は長期的に減少傾向にあったが、平成 21 年以降、増加傾向に転じている。

- ・ 平成 27 年 3 月 14 日からは城端線新高岡駅が供用開始された。
- ・ 近年は、通勤・通学目的での定期利用者が増加し、全体の増加傾向を維持している状況となっている。
- ・ 定期と定期外利用では、新高岡駅の新幹線利用者を除くと定期利用が大幅に多いと推測される。



注) H26 からは、新幹線利用者を含む新高岡駅の乗車人数込の実績

図 2.43 城端線の 1 日あたり乗車人員

2) 氷見線の利用状況

○ 氷見線の乗車人員は長期的に減少傾向にあったが、平成 27 年以降概ね横ばい。

- ・ 北陸新幹線が開業した平成 27 年以降、定期・定期外利用ともに概ね横ばいとなっている。
- ・ 定期と定期外利用では、定期利用が大幅に多い。

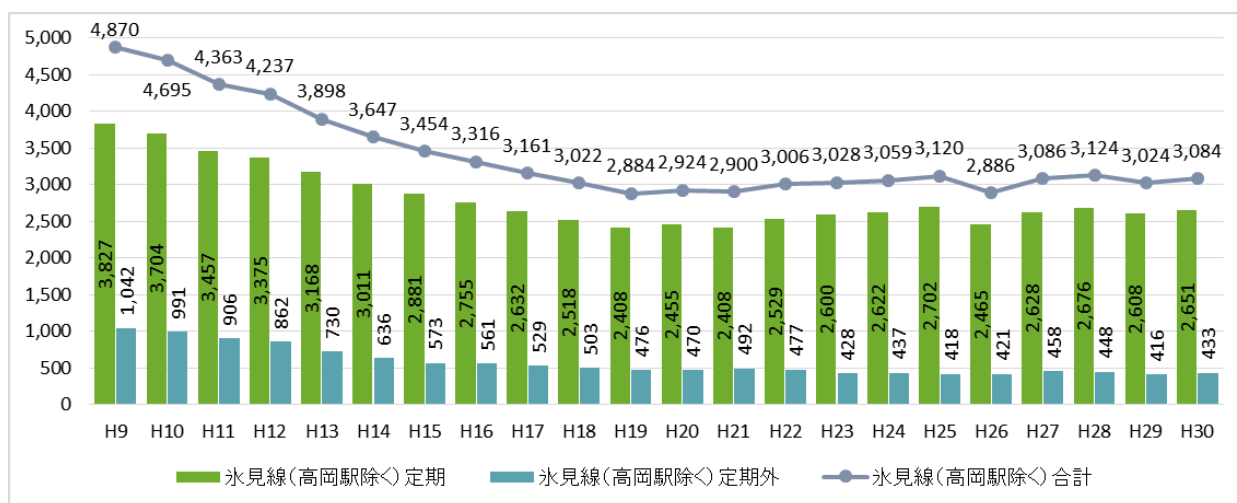


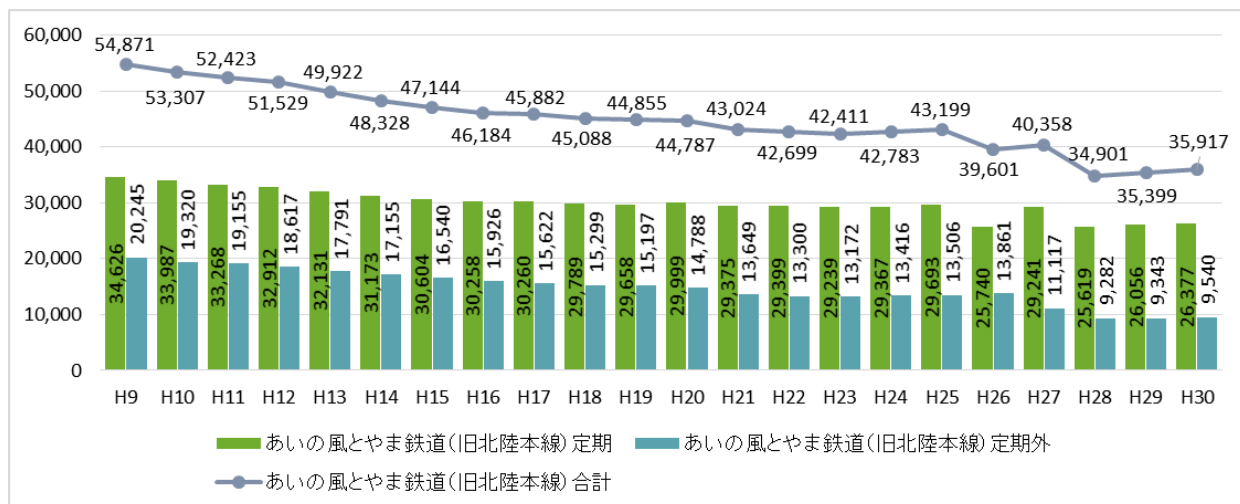
図 2.44 氷見線の 1 日あたり乗車人員

出典 富山県統計年鑑

3) あいの風とやま鉄道（旧北陸本線）の利用状況

○ あいの風とやま鉄道の乗車人員は、平成 28 年以降微増に転じている

- ・ 平成 27 年は、JR からあいの風とやま鉄道に運営が移管され、特急列車が運行しない状況となったが、定期、定期外利用ともに微増に転じている。



注) H27. 3. 14 に JR より移管されたため、H26 の運行日数は 347 日

図 2.45 あいの風とやま鉄道（旧北陸本線）の 1 日あたり乗車人員

4) 万葉線の利用状況

○ 万葉線の乗車人員は、平成 27 年以降概ね横ばい

- ・ 他の鉄道線と比べ、定期外利用の比率が高くなっている。

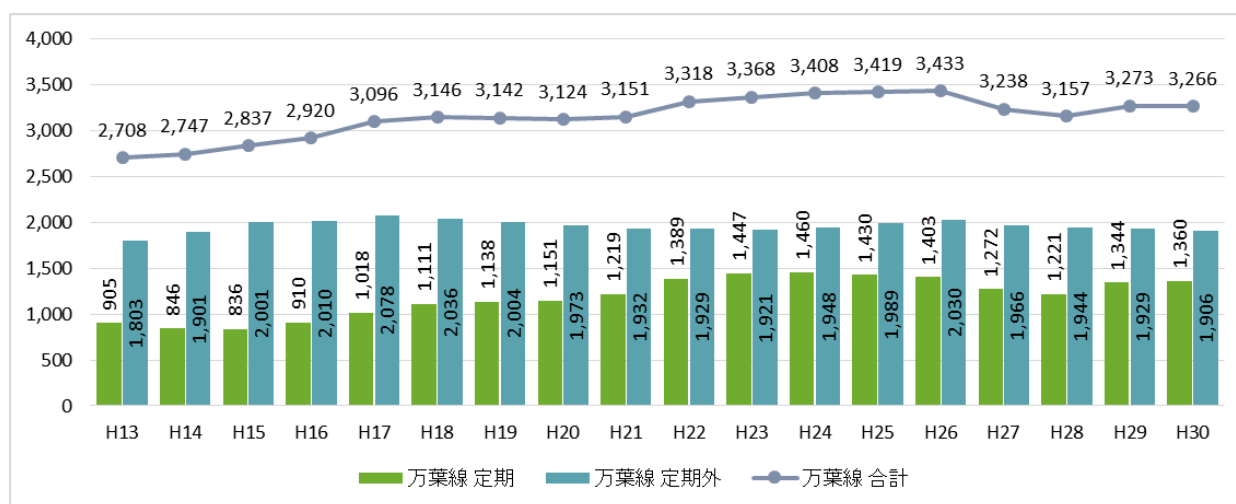
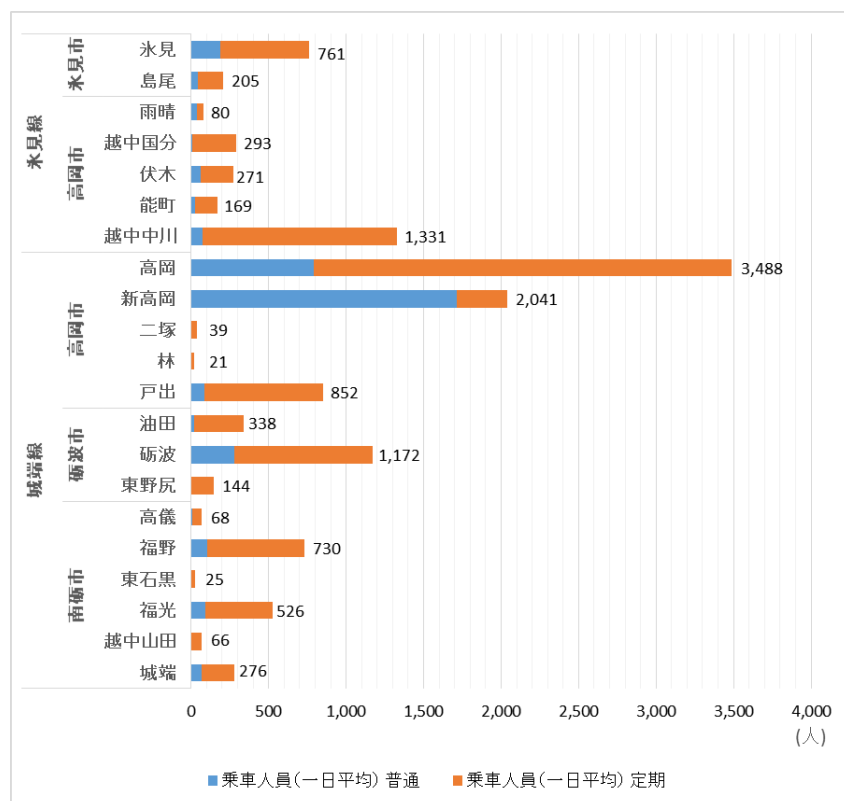


図 2.46 万葉線の 1 日あたり乗車人員

(出典 富山県統計年鑑、射水市統計書)

(2) 城端線・氷見線駅別、券種別の利用状況

- 城端線では、砺波駅、戸出駅、福野駅、福光駅などの利用が多い（高岡駅、新高岡駅除く）
- 氷見線では、越中中川駅、氷見駅などの利用が多い（高岡駅除く）
- 券種別では、両路線合わせて定期約 9,300 人/日に対して、定期外約 3,600 人/日



(単位:人)

線名	市町村	駅名	乗車人員(一日平均)		
			普通	定期	合計
氷見線	氷見市	氷見	186	575	761
		島尾	42	163	205
	高岡市	雨晴	40	40	80
		越中国分	5	288	293
		伏木	59	211	271
		能町	28	141	169
		越中中川	72	1,259	1,331
城端線	高岡市	高岡	792	2,696	3,488
		新高岡	1,713	328	2,041
		二塚	2	36	39
		林	2	19	21
		戸出	83	769	852
	砺波市	油田	20	319	338
		砺波	276	896	1,172
	南砺市	東野尻	4	140	144
		高儀	5	63	68
		福野	105	625	730
		東石黒	2	23	25
		福光	94	432	526
		越中山田	3	63	66
城端		69	207	276	
合計			3,602	9,293	12,896

※乗車人員は2019年度(年報)

※新高岡駅の乗車人員は北陸新幹線乗車人員を含む

図表 2.47 城端線・氷見線の駅別乗車人員

出典:「とやま統計ワールド」

2.4 道路交通

2.4.1 道路網

- 氷見線と並行する主要道路は、国道 415 号、国道 160 号、能越自動車道（無料区間）など。
- 城端線と並行する主要道路は、国道 156 号、県道 20 号、能越自動車道など。



資料 NTT 空間情報を基に加筆

図 2.48 沿線の道路網

2.4.2 混雑状況

○ 高岡駅・新高岡駅周辺、氷見駅周辺等で混雑時旅行速度が低い区間が見られる。

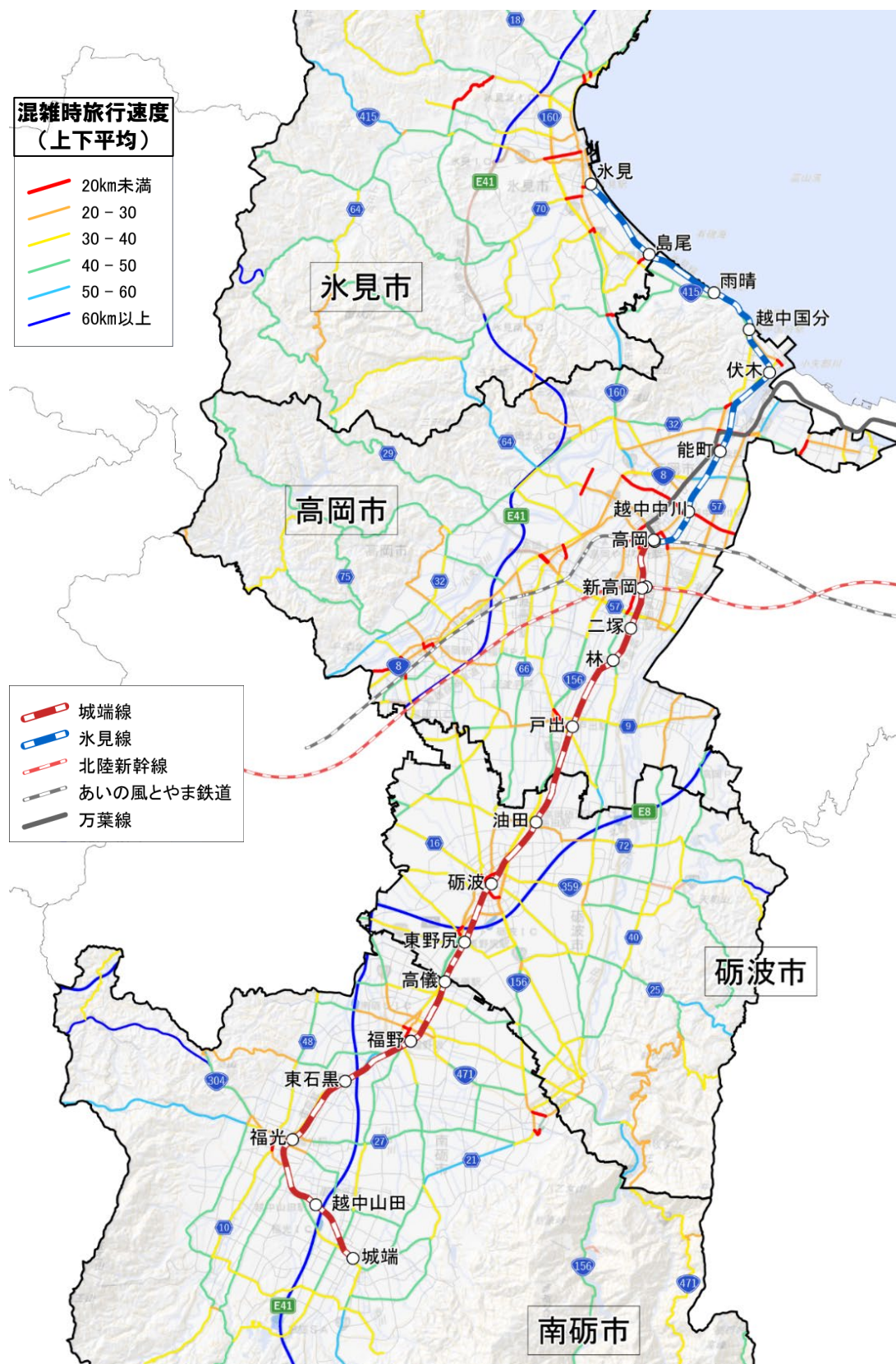


図 2.49 混雑時旅行速度

出典:平成 27 年 全国道路・街路交通情勢調査

2.4.3 交通事故

○ 交通事故件数は減少しているが、高齢ドライバーによる割合が増加

- ・ 本県の高齢者の運転免許人口は、平成 22 年の 139,348 人から令和元年の 210,320 人へと 10 年間で約 1.5 倍 (70,972 人) に増加している。
- ・ 特に 75 歳以上の運転免許人口は、42,080 人から 71,239 人へと約 1.7 倍 (29,159 人) に増加している。

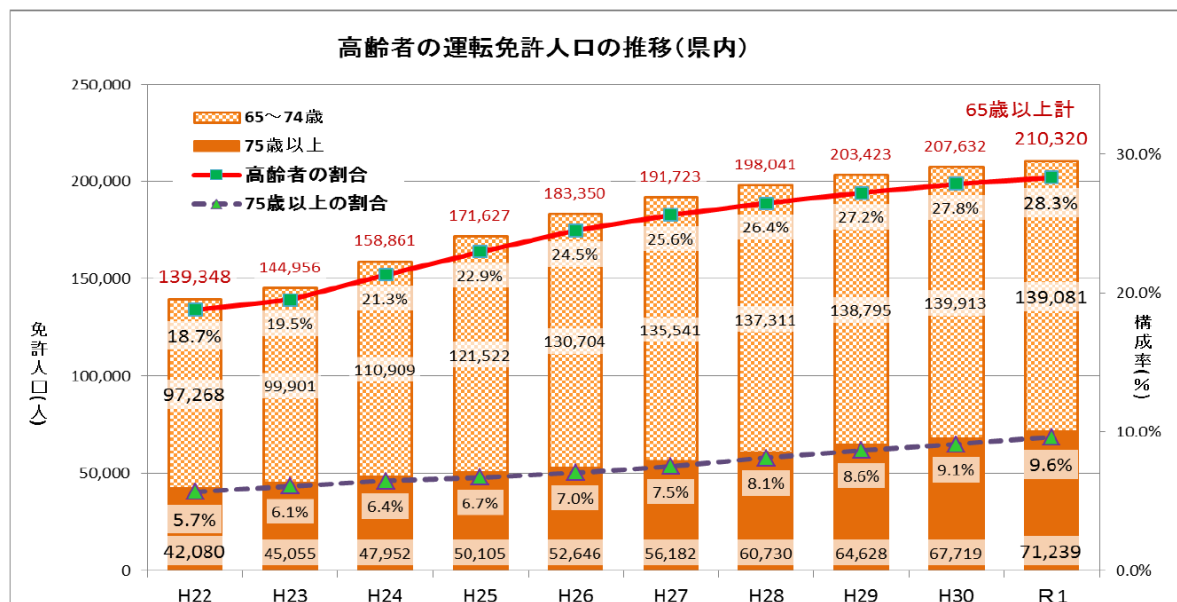


図 2.50 高齢者の運転免許人口の推移(県内)

- ・ 平成 27 年から令和元年までの 5 年間に、運転者事故(全年齢は、3,883 件から 2,304 件へと 40.7%減少▲1,579 件)している。
- ・ 高齢者が第 1 当事者となった運転者事故(以下「高齢運転者事故」も、869 件から 617 件へと 29.0 減少▲252 件)しているが、減少率は、運転者事故全体と比べて小さくなっている。その結果、高齢運転者事故の割合は、22.4%から 26.8%へと増加している。

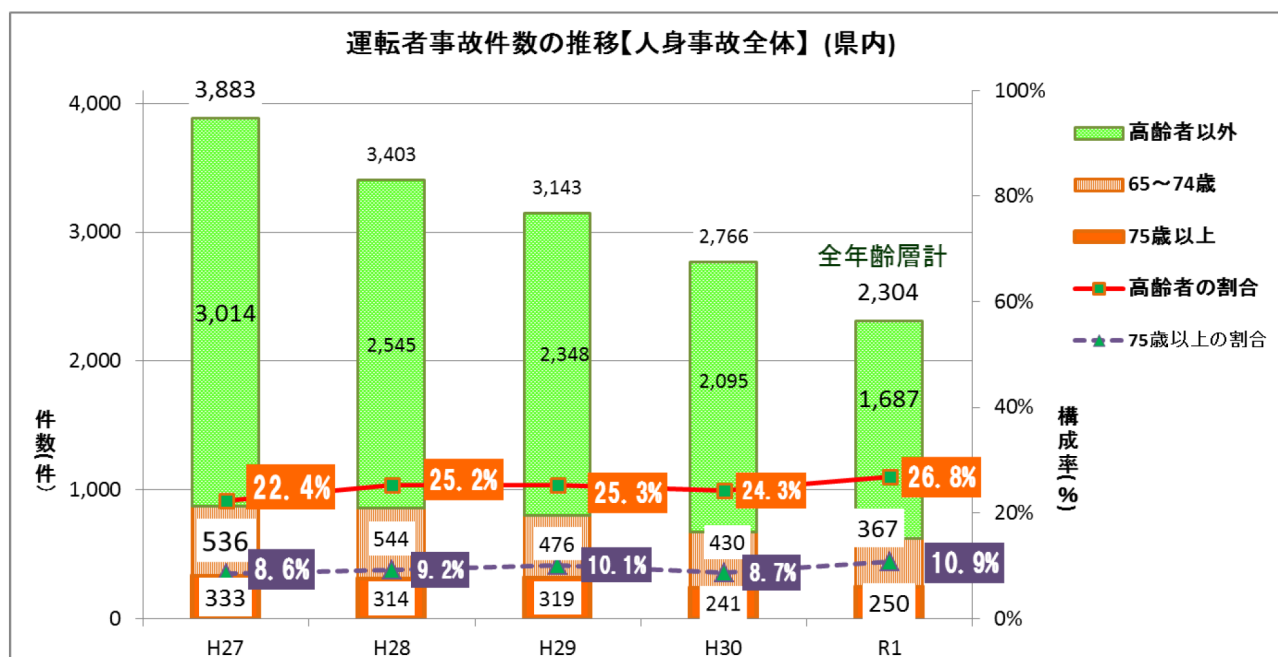


図 2.51 高齢者事故件数の推移(県内)

出典: 富山県警察「高齢運転者による交通事故の特徴と防止対策の推進」

2.5 主要拠点間の交通サービス比較

○ 氷見線は道路に対して迂回しているため、城端線に比べて鉄道の優位性が低い。

- ・ 鉄道の表定速度は自動車の同等以上であるが、城端線の所要時間が自動車より優位なのに対して、道路に対して迂回している氷見線は優位となっていない。
- ・ 鉄道とバスでは、城端線が運行本数、運賃を含めてバスより優位なのに対して、氷見線はバスの方が優位となっている。

表 2.8 氷見線（氷見駅～高岡駅）の交通サービス比較

		鉄道 (JR氷見線)	バス (国道 160 号経由)	自動車	備考
所要時間 (分)	朝	30	39	27	自動車は距離約 14.0kmに対して下記の速度より算出(朝は混雑時、日中は非混雑時)
	日中		39	26	
運行本数 (本/時)	朝	1～2	2	—	
	日中	1	2		
運賃(円)		330	320	—	

表 2.9 城端線（砺波駅～高岡駅）の交通サービス比較

		鉄道 (JR城端線)	バス (庄川小牧線)	自動車	備考
所要時間 (分)	朝	21	50	27	自動車は距離約 14.0kmに対して下記の速度より算出(朝は混雑時、日中は非混雑時)
	日中		46	26	
運行本数 (本/時)	朝	2	2	—	
	日中	1	1		
運賃(円)		240	450	—	

表 2.10 城端線（福光駅～高岡駅）の交通サービス比較

		鉄道 (JR城端線)	バス	自動車	備考
所要時間 (分)	朝	43	なし	50	自動車は距離約 25.9kmに対して下記の速度より算出(朝は混雑時、日中は非混雑時)
	日中			47	
運行本数 (本/時)	朝	2		—	
	日中	1		—	
運賃(円)		510		—	

※青字は各項目において最も優位な交通手段

表 2.11 自動車の平均速度

	混雑時（朝）	非混雑時（日中）
富山県の 一般道平均	30.8 km/時	32.9 km/時

出典：全国道路・街路交通情勢調査(平成 27 年)